



株式会社夢真ホールディングス
YUMESHIN HOLDINGS CO.,LTD.

2018年9月期
決算説明会
～第3四半期～

2018年9月4日版

2018年9月期/
September. 2018
証券コード/
Securities code
2362

CONTENTS

連結決算概要 … P4

セグメント別概要 …P16

第4四半期について …P39

株主還元方針 …P49

ご参考 …P53

事業ポートフォリオ

[FY17/Q4]

報告セグメント	会社名
建築技術者派遣	夢真ホールディングス
エンジニア派遣	夢テクノロジー
教育関連	夢エデュケーション 建設資格推進センター
IT関連	夢ソリューションズ ギャラクシー Keepdata
その他	夢エージェント YUMEAGENT PHILIPPINES YUMEAGENT VIETNAM

[FY18/Q3]

報告セグメント	会社名
建設技術者派遣	夢真ホールディングス
エンジニア派遣	夢テクノロジー クルンテープ
その他	夢エージェント YUMEAGENT PHILIPPINES YUMEAGENT VIETNAM 夢エデュケーション 建設資格推進センター 夢ソリューションズ

セグメント区分変更

連結決算概要

連結P/Lの状況

連結P/L (1) 四半期毎の状況

- 売上高は技術者数の積み上げにより32四半期連続増収
- 今期重要課題とした「利益を出す」のとおり各利益とも前期比2倍増

親会社株主に帰属する
当期純利益

売上高

+34.1%

営業利益

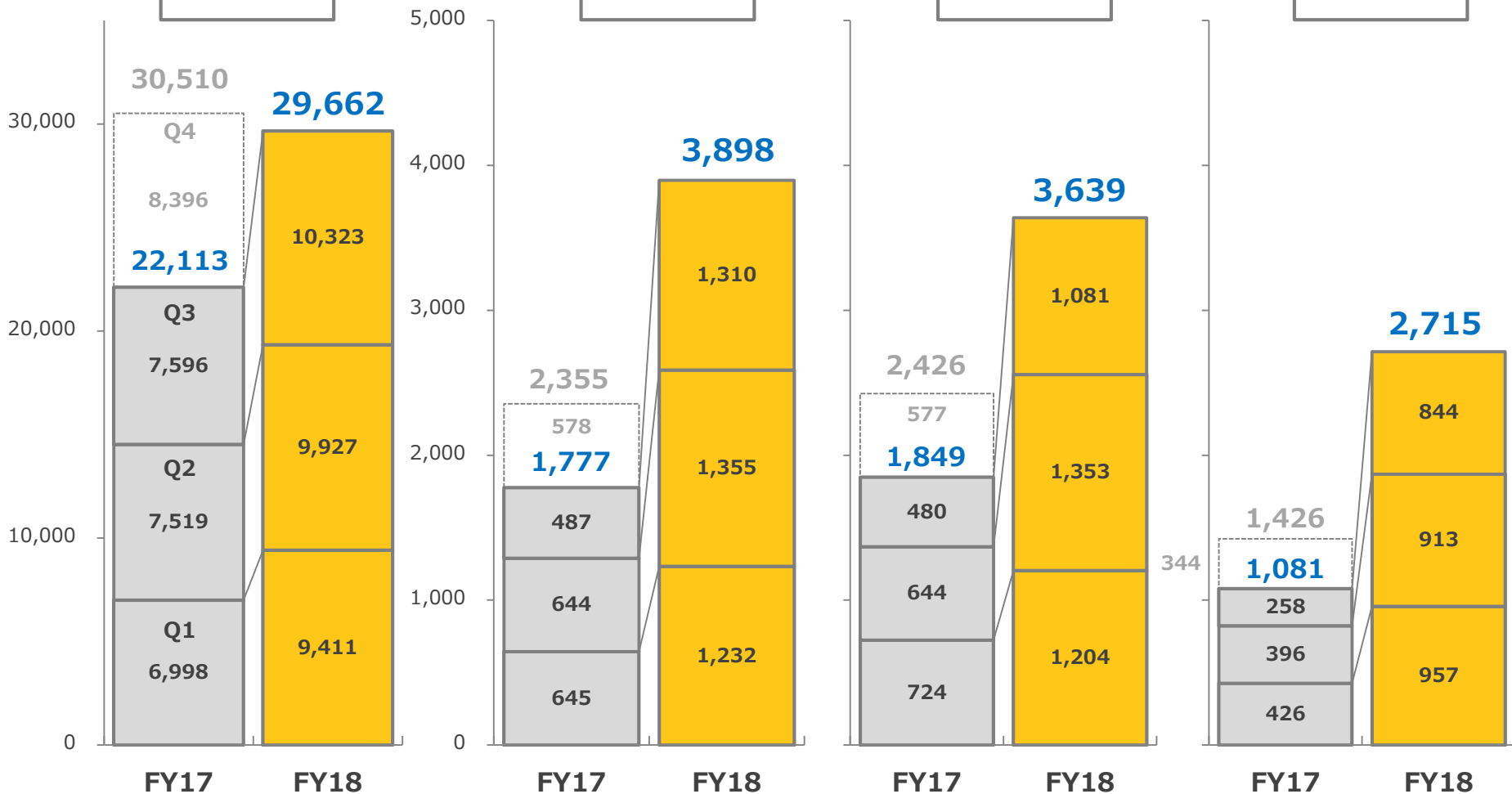
+119.3%

経常利益

+96.7%

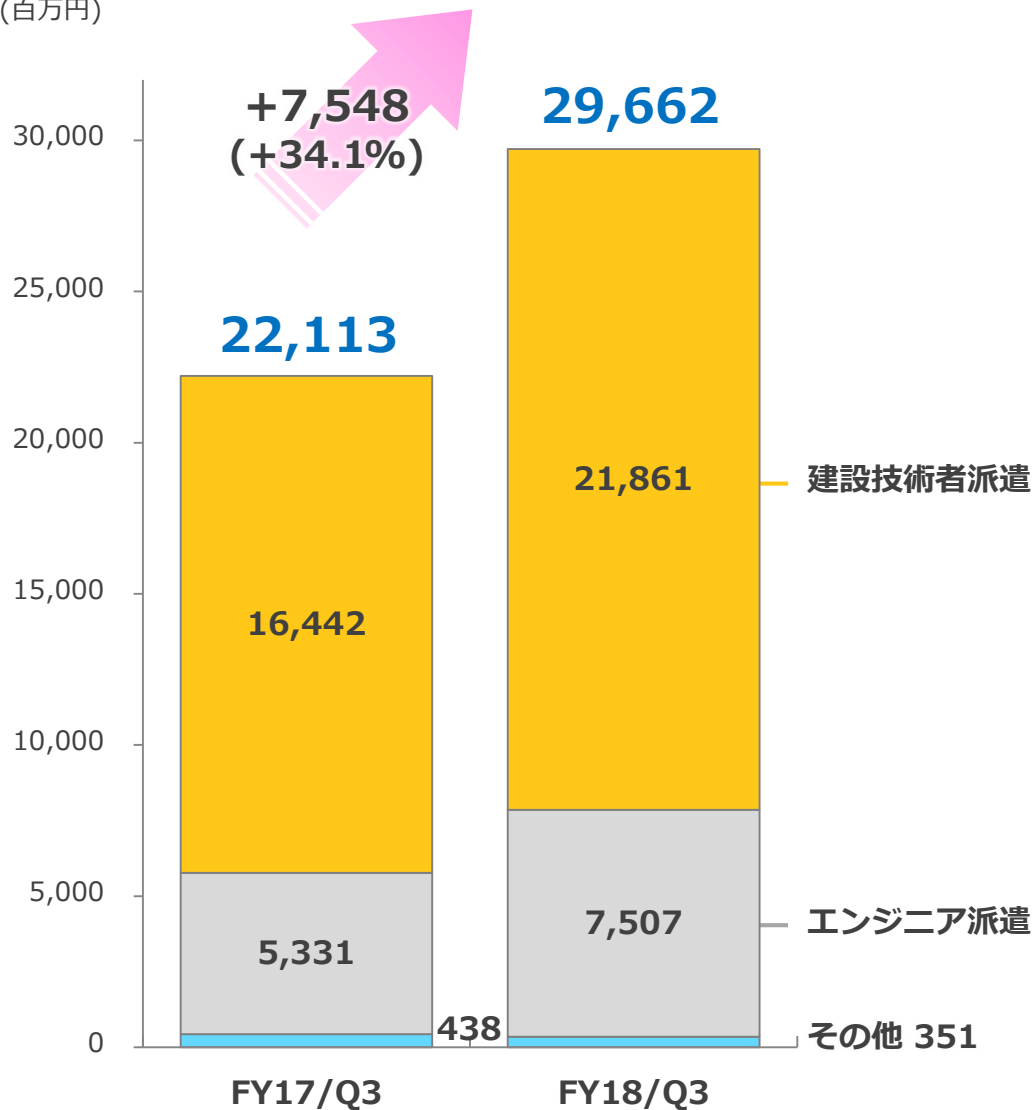
+151.1%

(百万円)



連結P/L (2) 売上高

(百万円)



- 建設技術者、エンジニアともに人数増加+稼働率上昇で34%増収

[主な増減要因]

建設技術者派遣 +5,419百万
(+33.0%)

- 稼働人数の増加、派遣単価の上昇による増収

エンジニア派遣 +2,175百万
(+40.8%)

- 稼働人数の増加、派遣単価の上昇による増収

その他 ▲86百万
(▲19.8%)

- 不採算事業の撤退・縮小による減収

※ 増減要因には上記の他に「連結消去 +40百万円」が含まれます。

連結P/L (3) 販売費及び一般管理費

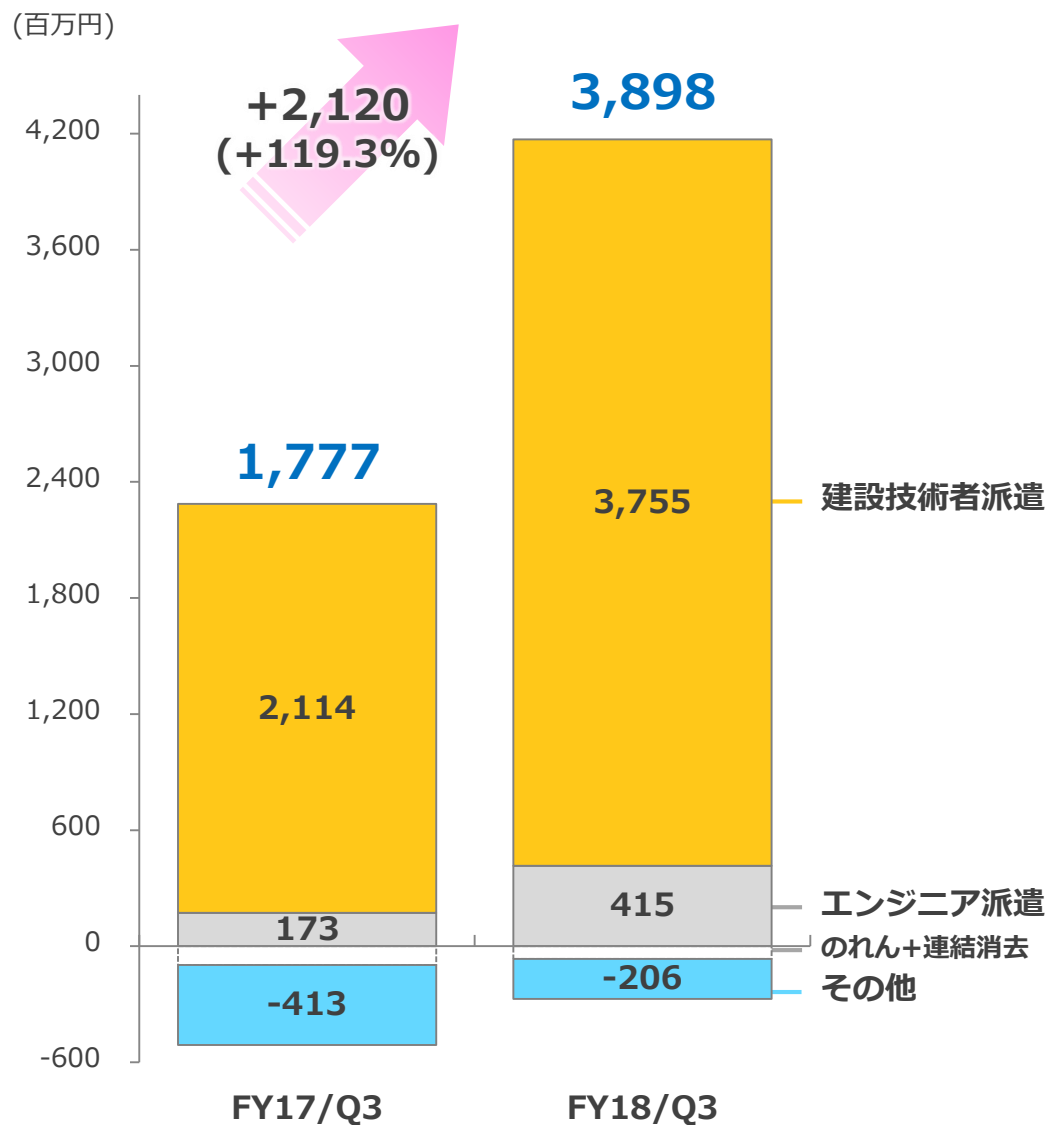
■ 採用費のコントロールが機能し販管費は13%の増加と微増で着地

(百万円)

	FY17/Q3	FY18/Q3	増減額	摘要
売上原価	15,738	20,553	+4,819	技術者の増員による増加
売上原価率	71.2%	69.3%	▲1.9pt.	
売上総利益	6,379	9,108	+2,729	
売上総利益率	28.8%	30.7%	+1.9pt.	稼働率の上昇による改善
販売費及び一般管理費	4,601	5,210	+608	
役員報酬	131	114	▲16	
人件費	2,039	2,427	+387	営業員および人材管理部門の増員による増加
広告宣伝費	46	43	▲3	
採用費	1,113	1,290	+177	効率的な採用活動により微増に留まる
地代家賃	287	386	+98	
業務委託費	262	190	▲72	
のれん償却額	165	148	▲17	
販管費率	20.8%	17.6%	▲3.2pt.	

※ 人件費 = 給与及び手当 + 旅費及び交通費 + 賞与 + 法定福利費 + 福利厚生費 + 退職給付費用 (役員含まず)

連結P/L (4) 営業利益



- 各技術者派遣の好調+不採算事業の整理が大きく進み119%増益

[主な増減要因]

建設技術者派遣 +1,641百万 (+77.6%)

- 稼働率・派遣単価の上昇による増益

エンジニア派遣 +241百万 (+138.9%)

- 派遣単価の上昇による増益

その他 +207百万 (+50.1%)

- 不採算事業の撤退・縮小
- 建設・製造業界への人材紹介が堅調

※ 増減要因には上記の他に「のれん+連結消去 +30百万円」が含まれます。

連結 P/L サマリー

(百万円)

	FY17/Q3	FY18/Q3	増減額	増減率
売上高	22,113	29,662	+7,548	34.1%
売上総利益	6,379 (28.8%)	9,108 (30.7%)	+2,729	42.8%
販売費及び一般管理費	4,601 (20.8%)	5,210 (17.6%)	+608	13.2%
営業利益	1,777 (8.0%)	3,898 (13.1%)	+2,120	119.3%
経常利益	1,849 (8.4%)	3,639 (12.3%)	+1,790	96.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,081 (4.9%)	2,715 (9.2%)	+1,634	151.1%

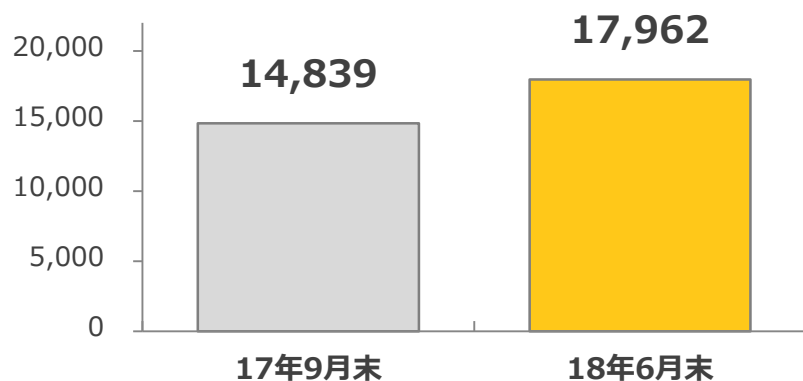
※ () = 売上高比率

連結B/Sの状況

連結B/Sの状況

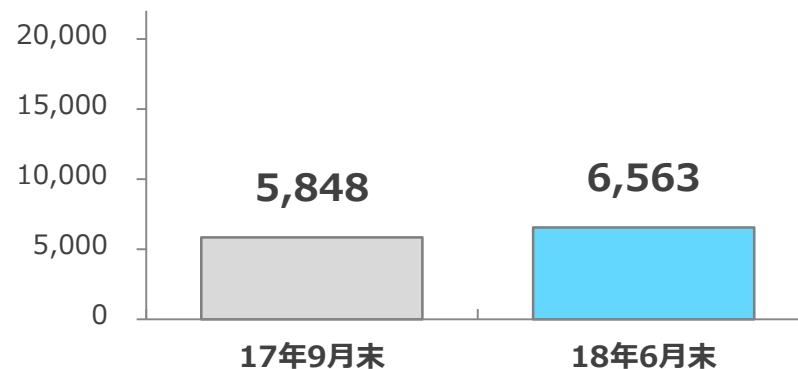
流動資産

(百万円)



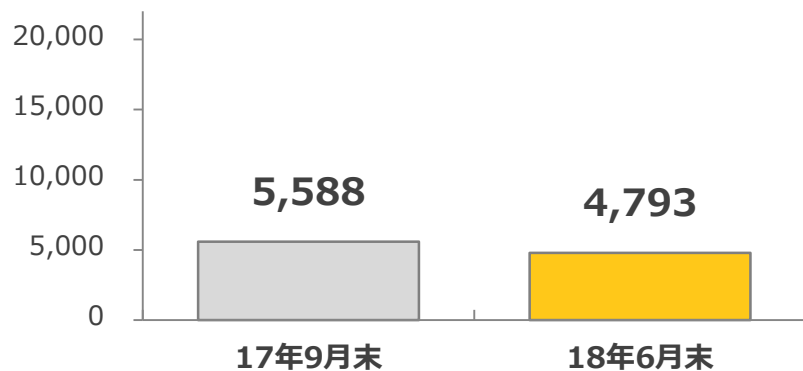
流動負債

(百万円)



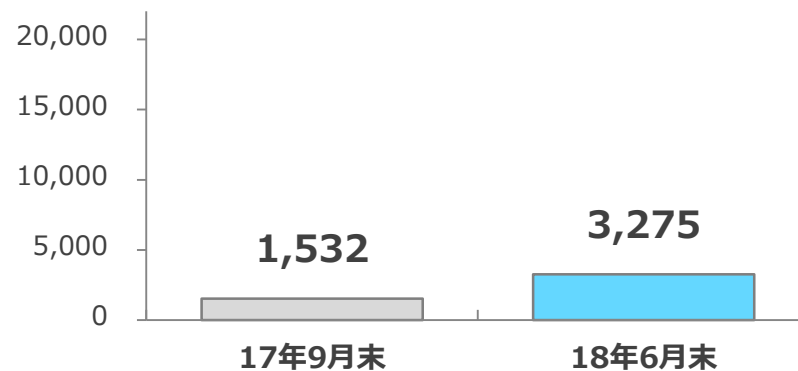
固定資産

(百万円)



固定負債

(百万円)



連結B/S (1) 資産の部

(百万円)

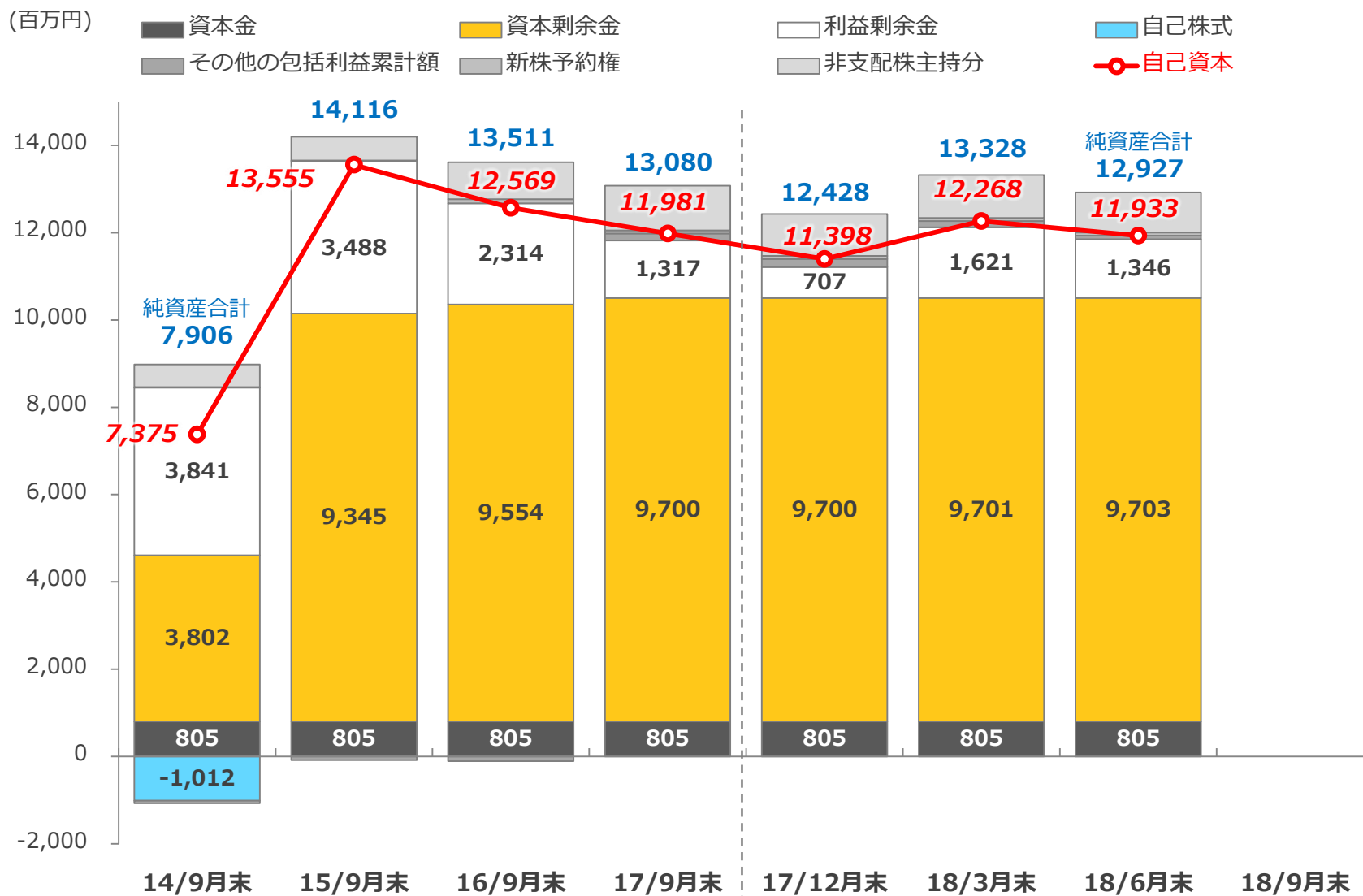
	2017年9月末	2018年6月末	増減額	摘要
資産の部	20,491	22,766	+2,305	
流動資産	14,839	17,962	+3,123	
現金及び預金	8,555	10,689	+2,134	四半期純利益の増加による増加
受取手形及び売掛金	4,853	5,937	+1,038	派遣先の増加による増加
繰延税金資産	238	335	+97	
預け金	434	434	+0	
貸倒引当金	▲30	▲28	+1	
固定資産	5,588	4,793	▲794	
有形固定資産	1,080	951	▲128	
建物及び構築物	489	436	▲53	
工具、器具及び備品	64	101	+37	
土地	505	395	▲110	
無形固定資産	1,059	936	▲123	
のれん	898	812	▲86	
ソフトウェア	146	103	▲42	IT関連事業の縮小による減少
投資その他の資産	3,447	2,905	▲542	
投資有価証券	2,601	2,017	▲584	関係会社株式の売却による減少
繰延税金資産	23	125	+102	
差入敷金保証金	477	460	▲16	
不動産	239	235	▲3	
貸倒引当金	▲35	▲36	▲1	

連結B/S (2) 負債・純資産の部

(百万円)

	2017年9月末	2018年6月末	増減額	摘要
負債+純資産	20,461	22,766	+2,305	
負債の部	7,380	9,839	+2,458	
流動負債	5,848	6,563	+715	
買掛金	25	10	▲14	
短期借入金	915	100	▲815	
1年内返済予定の長期借入金	817	1,248	+430	
未払金	612	322	▲290	
未払法人税等	653	929	+275	
未払費用	1,408	1,904	+495	
賞与引当金	458	735	+276	
固定負債	1,532	3,275	+1,743	
長期借入金	1,045	2,849	+1,803	運転資金の借入による増加
退職給付に係る負債	278	302	+24	
純資産の部	13,080	12,927	▲153	
株主資本	11,823	11,855	+32	
資本金	805	805	—	
資本剰余金	9,700	9,703	+2	
利益剰余金	1,317	1,346	+29	FY18/Q1+Q2+Q3純利益 - FY17期末配当 - FY18中間配当
その他の包括利益累計額	158	78	▲80	
その他有価証券評価差額金	164	85	▲79	
新株予約権	72	72	+0	
非支配株主持分	1,026	921	▲105	

連結B/S (3) 自己資本推移



※ 自己資本 = 純資産 - 非支配株主持分 - 新株予約権

FY2018

セグメント別概要

建設技術者派遣事業

技術者数

×

稼働率

×

稼働時間

×

派遣単価



売上高

技術者数（1）採用実績

- 年間採用目標2,500人に対し、進捗率 83.5%
- 一人当たり採用コストは前年同期比 ▲1.1%

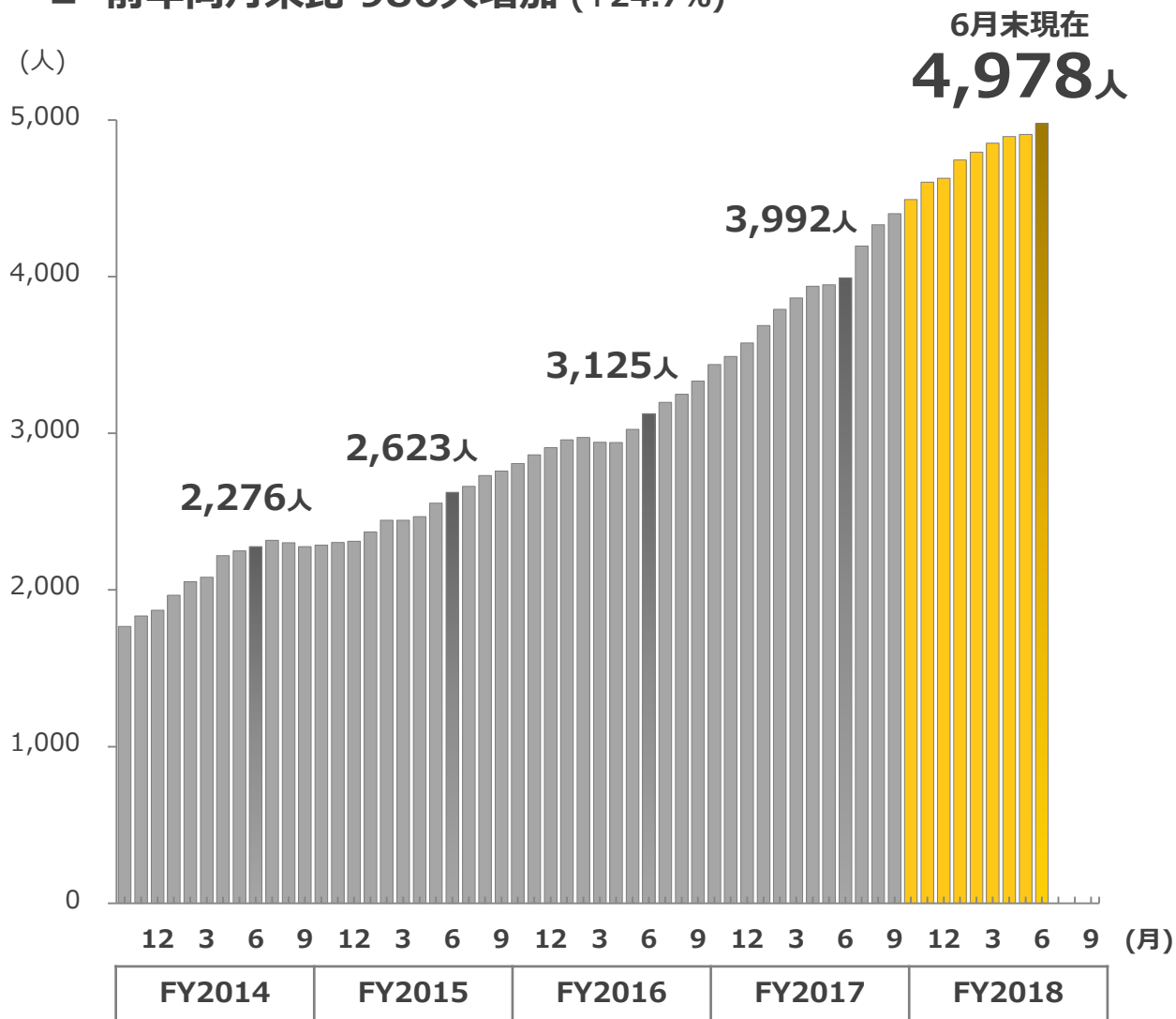
(単位：人)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10~3月 累計
FY17 採用実績	553			602			1,155
FY18 採用実績	698			673			1,371
増減	+145			+71			+216

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4~9月 累計	10~9月 累計
FY17 採用実績	710			801			1,511	2,666
FY18 採用実績	716							
増減	+6							

技術者数（2） 在籍人数の推移

- 期末在籍技術者数目標 5,100人に対し、進捗率 97%
- 前年同月末比 986人増加 (+24.7%)

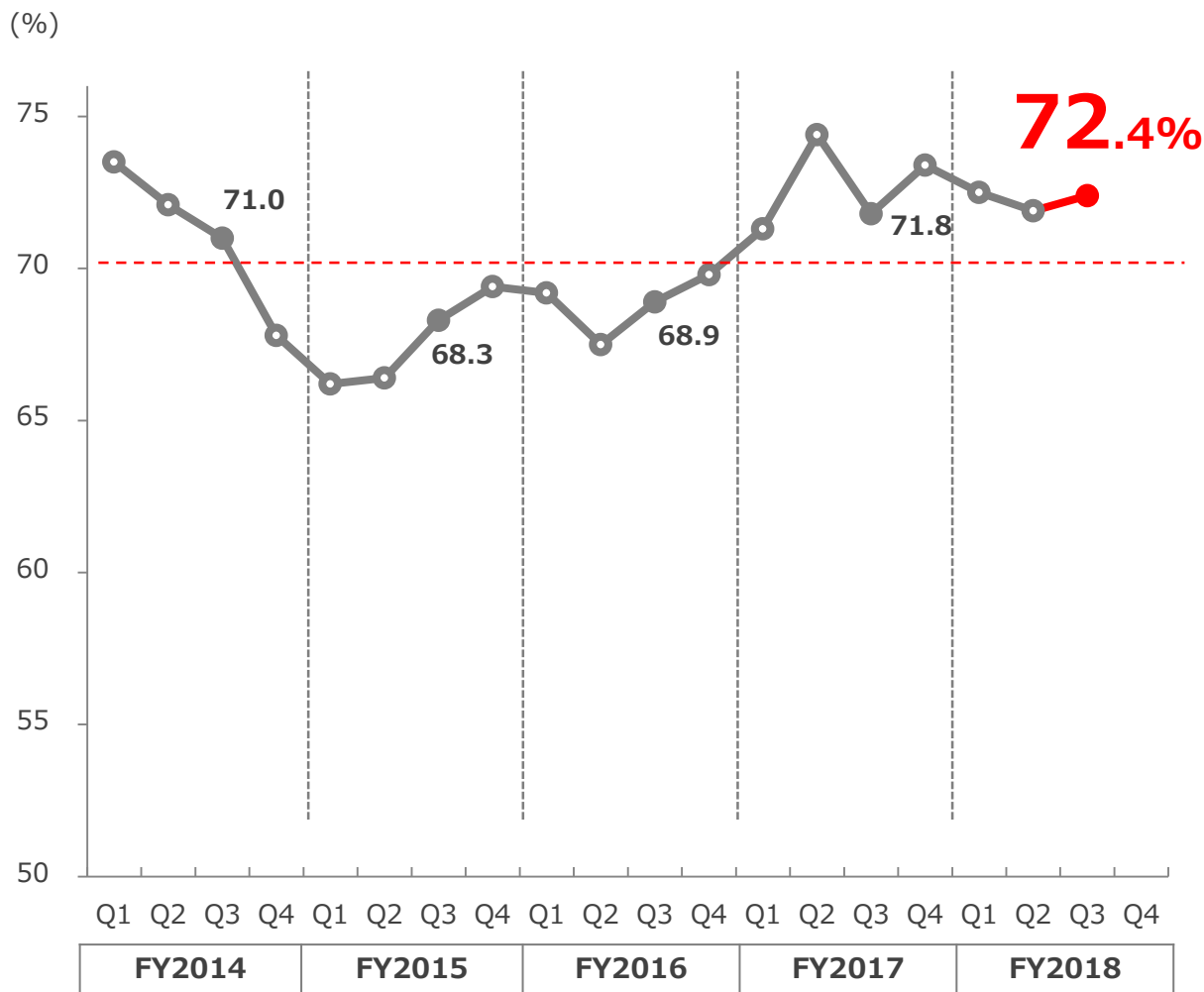


平均技術者数 9ヶ月平均 (10~6月)		
FY	人数	YoY
FY14/Q3	2,036人	
FY15/Q3	2,423人	+19.0%
FY16/Q3	2,950人	+21.7%
FY17/Q3	3,748人	+27.1%
FY18/Q3	4,767人	+27.2%

※ 各月末技術者数

技術者数 (3) 定着率の推移

- 継続的な改善策で70%以上の目標
- FY2018は72%程度で安定的に推移

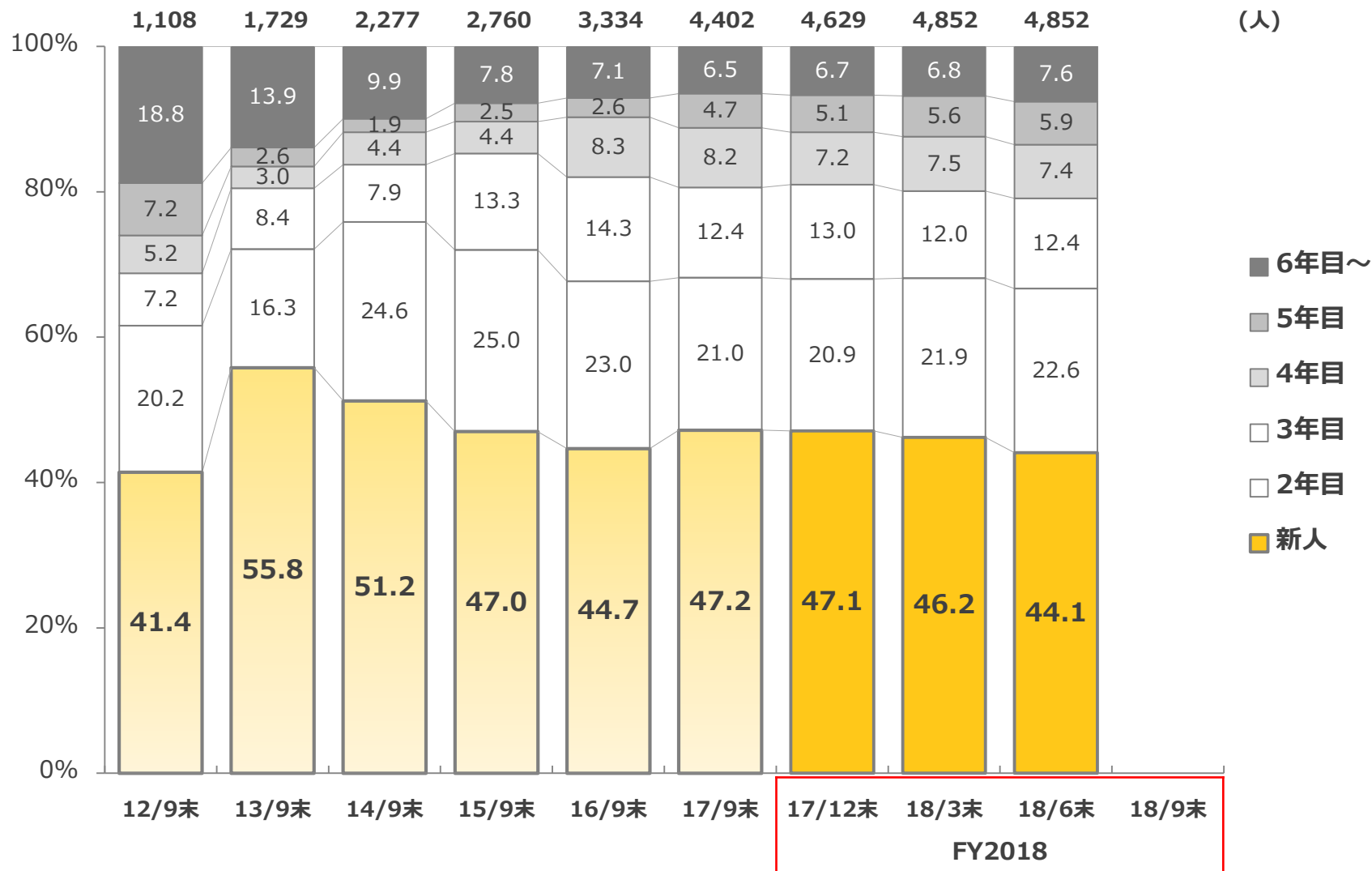


平均定着率 9ヶ月平均 (10~6月)		
FY14/Q3	72.2%	YoY
FY15/Q3	67.0%	▲5.2pt.
FY16/Q3	68.5%	+1.5pt.
FY17/Q3	72.5%	+4.0pt.
FY18/Q3	72.3%	▲0.2pt.

※ 定着率 = 集計時点在籍人数 ÷ (一年前在籍人数 + 一年間入社人数) × 100

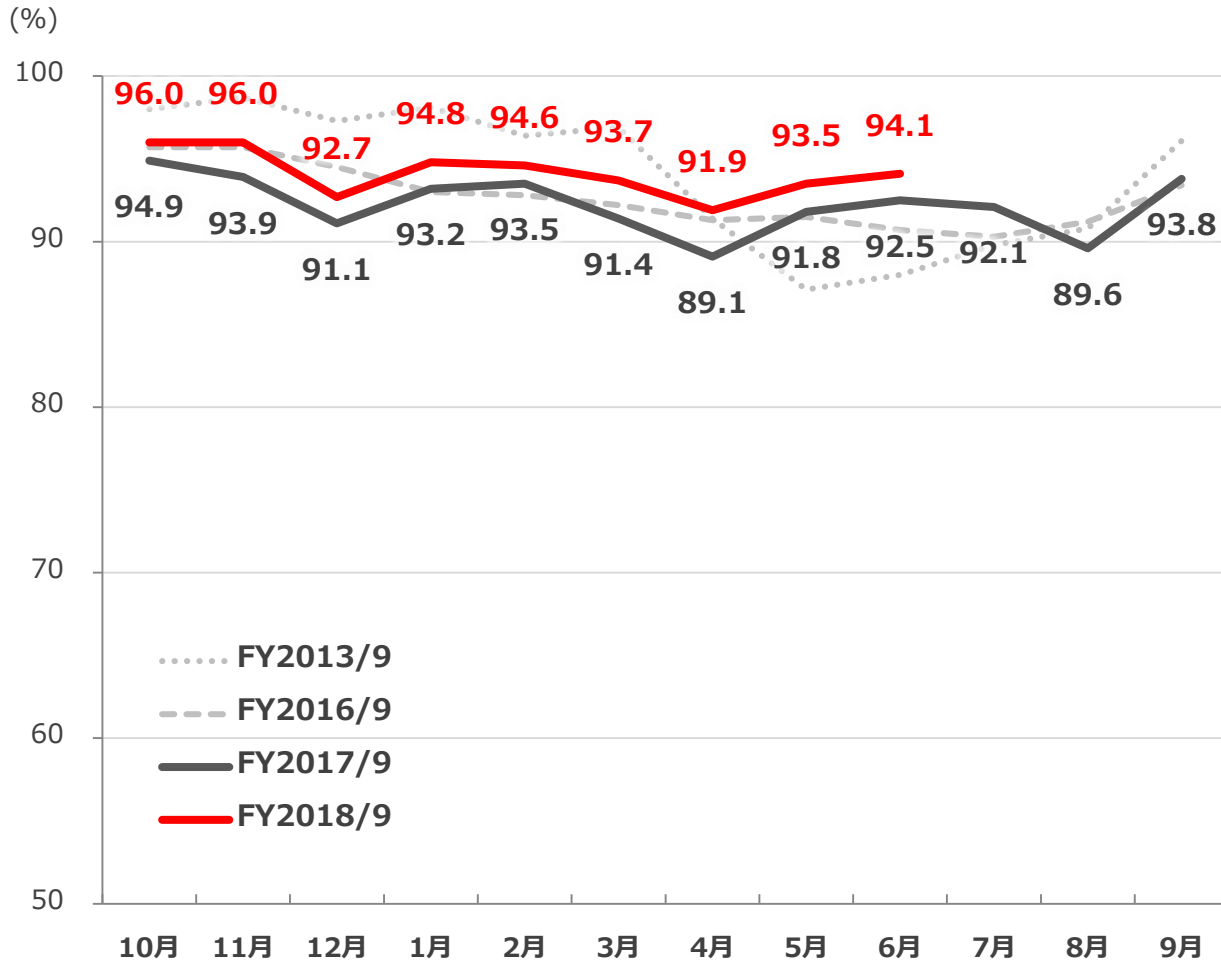
技術者数（４） 在籍年数別の割合

■ 年間採用数は前期と横ばい想定のため、今後も新人の比率は低下想定



稼働率の推移

■ 採用人数増加を効率的な研修と積極営業でこなし稼働率上昇

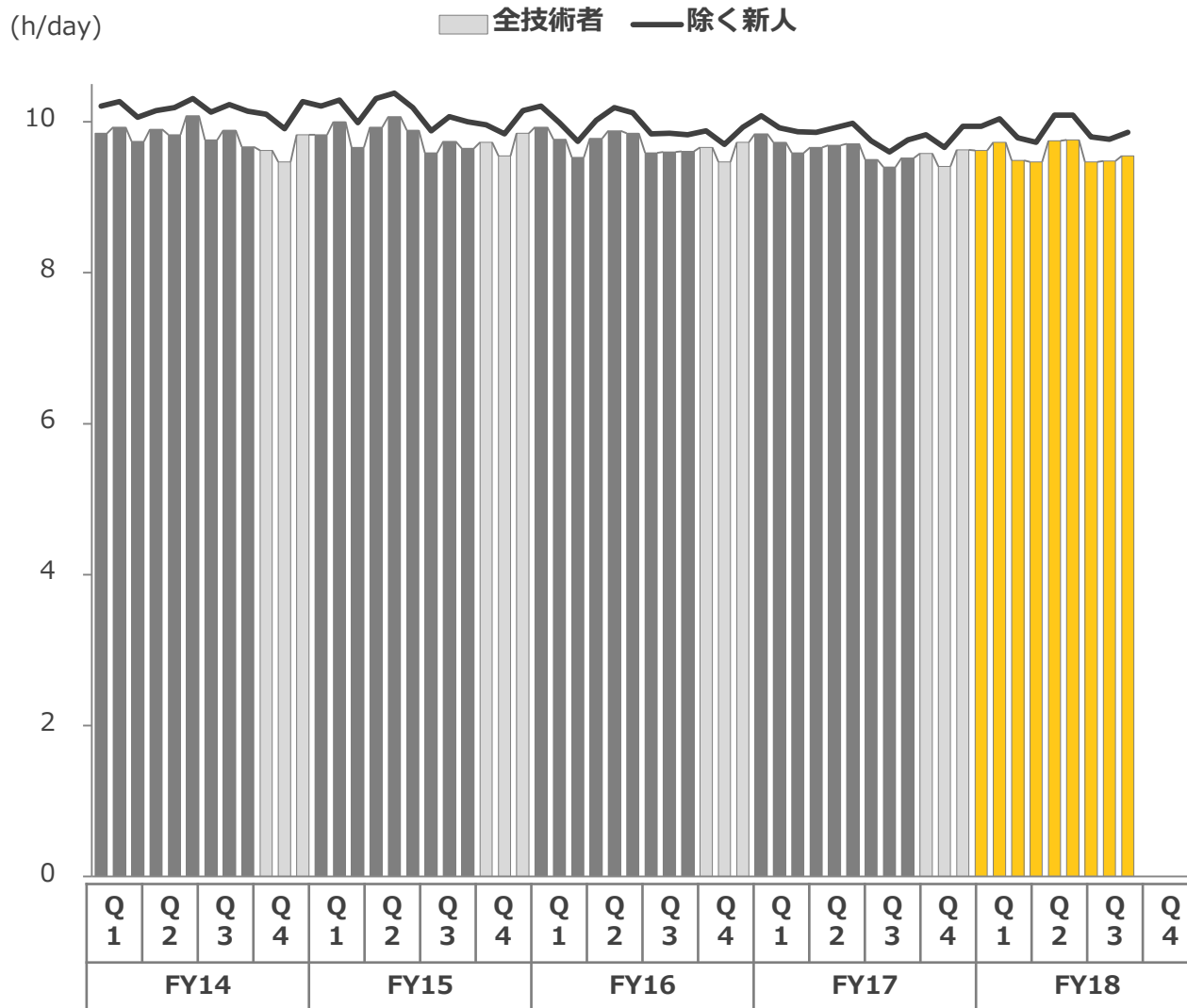


平均稼働率 9ヶ月平均 (10~6月)		
FY13/Q3	94.7%	YoY
FY16/Q3	93.0%	▲1.9pt.
FY17/Q3	92.4%	▲0.7pt.
FY18/Q3	94.1%	+1.7pt.

Q1	Q2	Q3	Q4
----	----	----	----

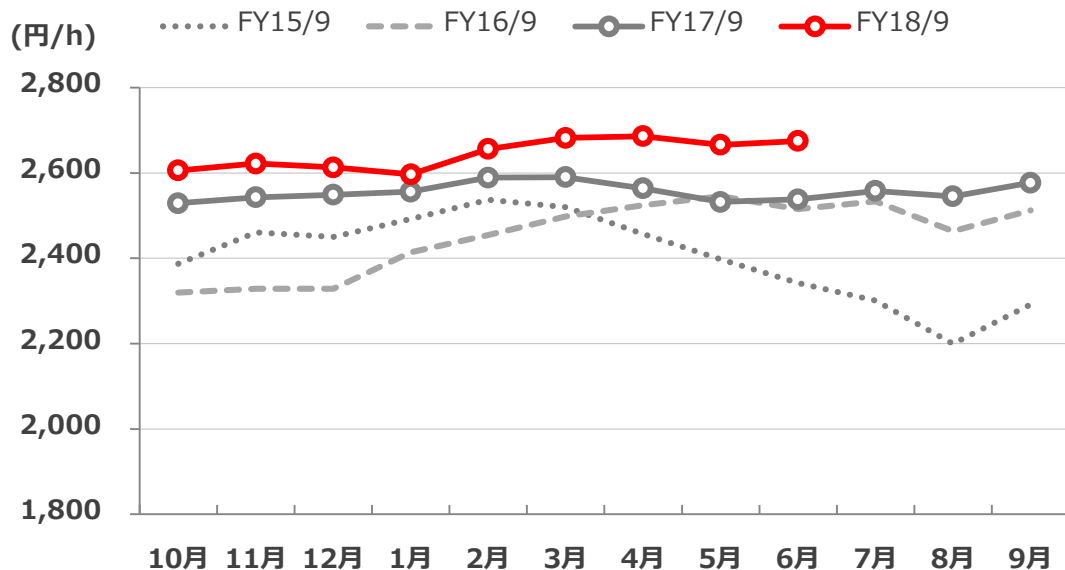
稼働時間の推移

- 「働き方改革」などの労務管理意識の高まりにより稼働時間は減少傾向続く
- 新人を除く技術者の稼働時間に関しては前期比+0.4%と12四半期ぶりに増加

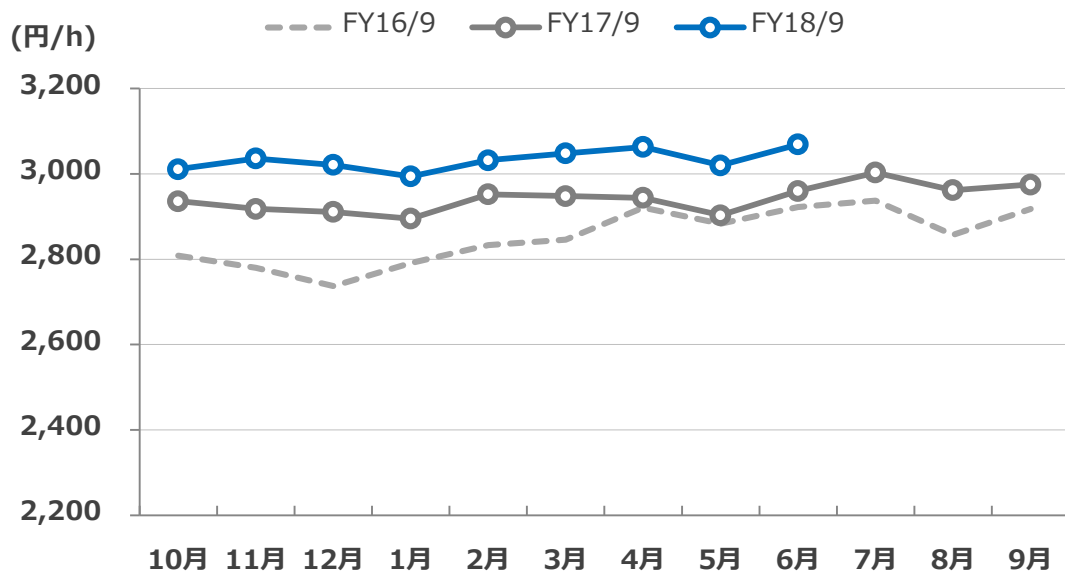


全技術者 平均稼働時間 9ヶ月平均 (10~6月)		
FY14/Q3	9.85h	YoY
FY15/Q3	9.82h	▲0.3%
FY16/Q3	9.73h	▲0.9%
FY17/Q3	9.63h	▲1.0%
FY18/Q3	9.59h	▲0.4%

派遣単価（1）新人・2年目の推移

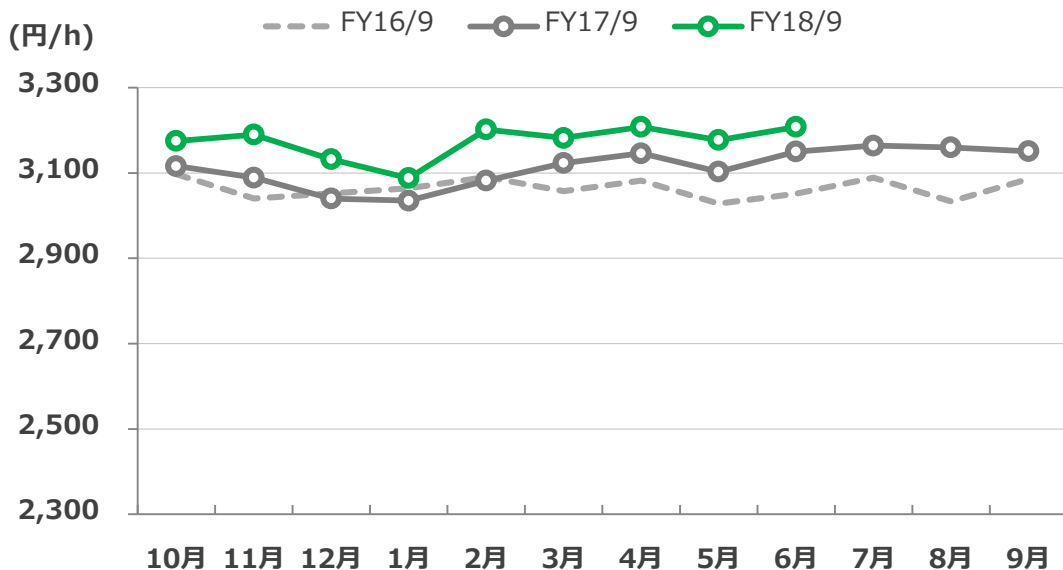


新人のみ 9ヶ月平均 (10~6月)		
FY15/Q3	2,449	YoY
FY16/Q3	2,437	▲0.5%
FY17/Q3	2,554	+4.8%
FY18/Q3	2,645	+3.5%



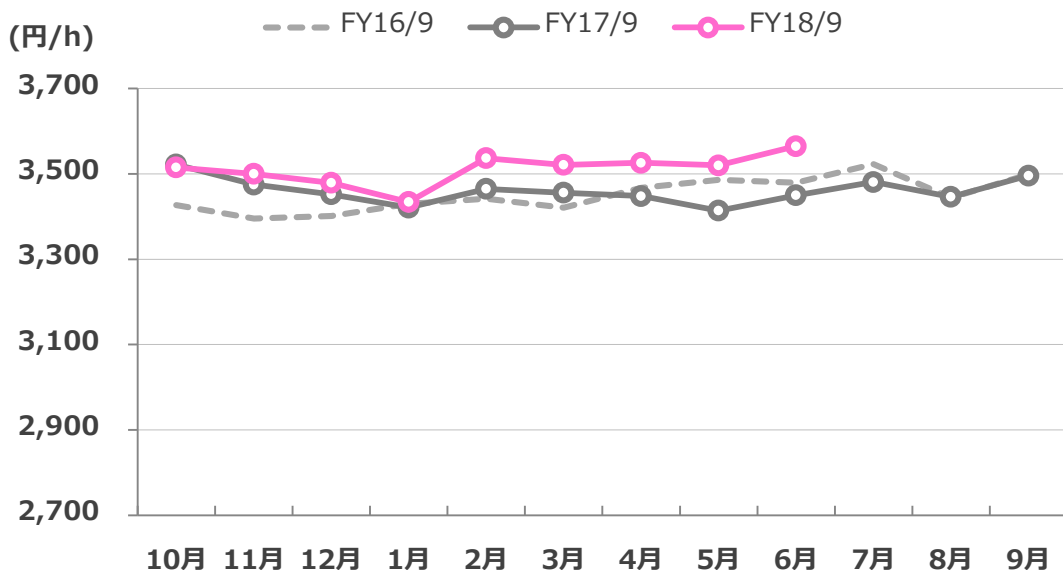
2年目のみ 9ヶ月平均 (10~6月)		
FY16/Q3	2,836	YoY
FY17/Q3	2,930	+3.3%
FY18/Q3	3,033	+3.5%

派遣単価（2）3年目・4年目以降の推移



3年目のみ
9ヶ月平均 (10~6月)

年次	単価 (円/h)	YoY
FY16/Q3	3,062	YoY
FY17/Q3	3,098	+1.2%
FY18/Q3	3,174	+2.4%

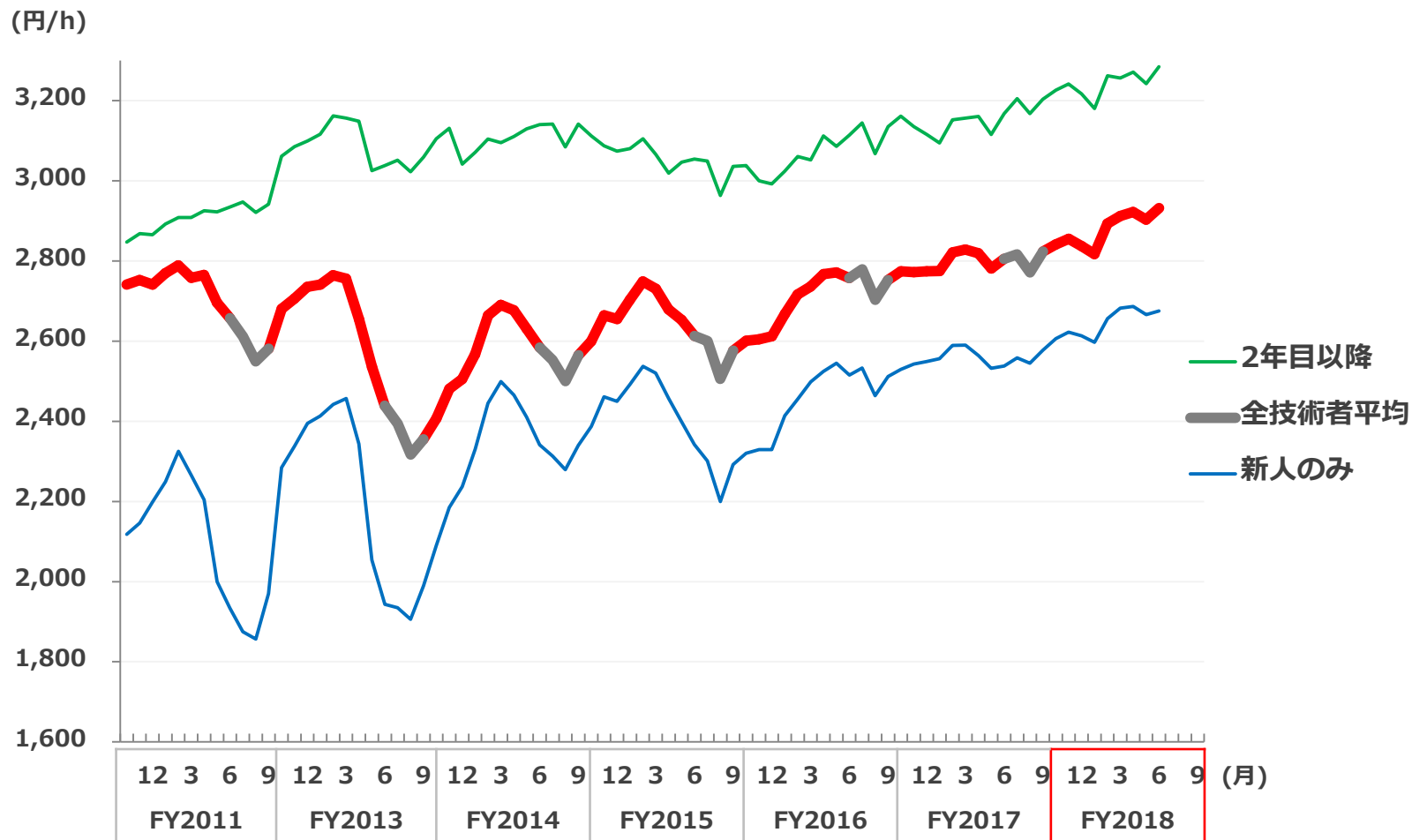


4年目以降
9ヶ月平均 (10~6月)

年次	単価 (円/h)	YoY
FY16/Q3	3,439	YoY
FY17/Q3	3,456	+0.5%
FY18/Q3	3,511	+1.6%

派遣単価 (3) 中期推移

- 旺盛な需要を背景にFY2015以降上昇が続く
- 構成比率の高い新人技術者の派遣単価上昇が利益率の向上に大きく寄与



全社平均 (Q1-Q3)	2,741円	2,668円	2,578円	2,672円	2,692円	2,794円	2,879円
	YoY	▲2.7%	▲3.4%	+3.6%	+0.8%	+3.8%	+3.0%

売上構成指標 サマリー

建設技術者派遣

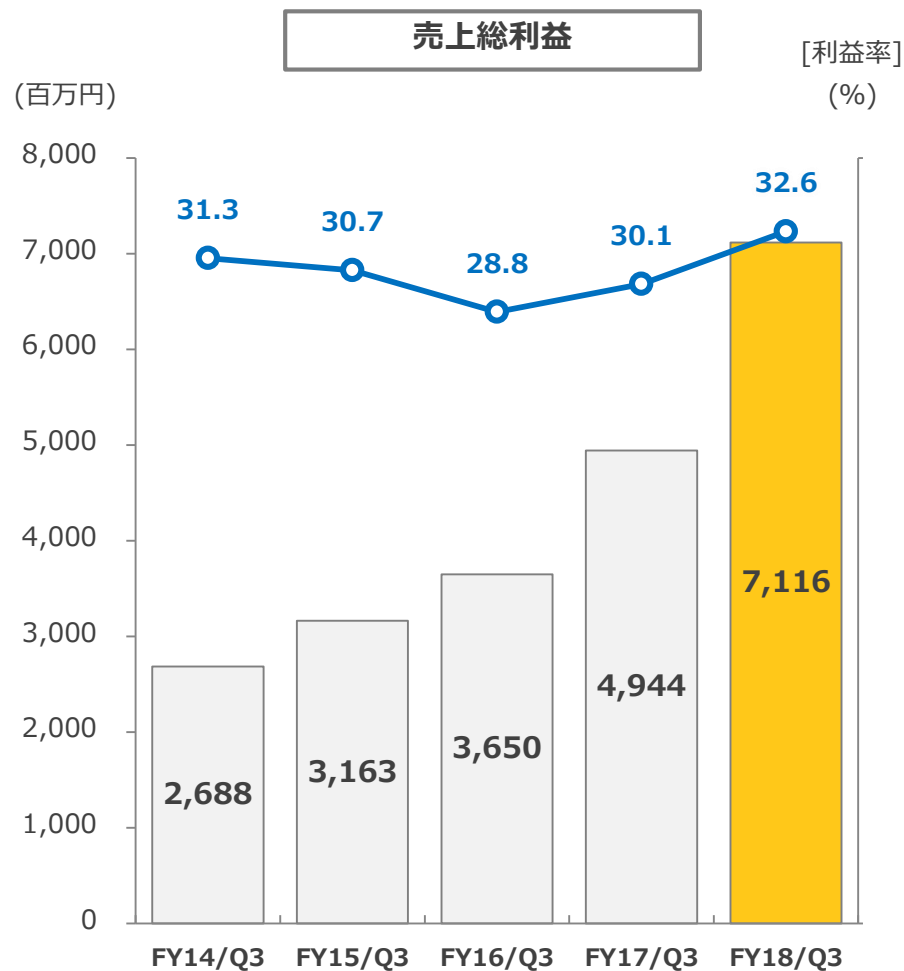
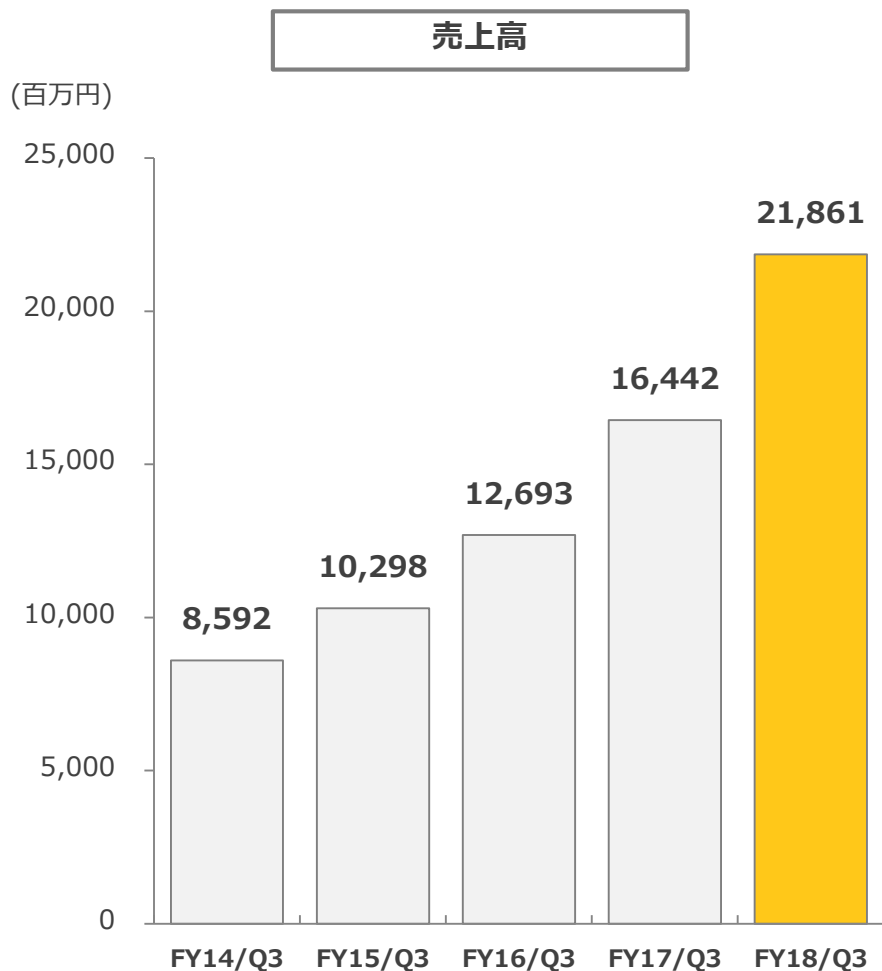
- 技術者数、稼働率、派遣単価が堅調
- 特に技術者数は採用人数、定着率ともに好調で年間計画を上回る見込み

全技術者 9ヶ月平均 (10~6月)

	FY17/Q3	FY18/Q3	増減	増減率
技術者数	3,748人	4,767人	+1,019人	+27.2%
稼働率	92.4%	94.1%	+1.7pt.	—
稼働時間	9.63h	9.59h	▲0.04h	▲0.4%
派遣単価	2,794yen	2,879yen	+85yen	+3.0%

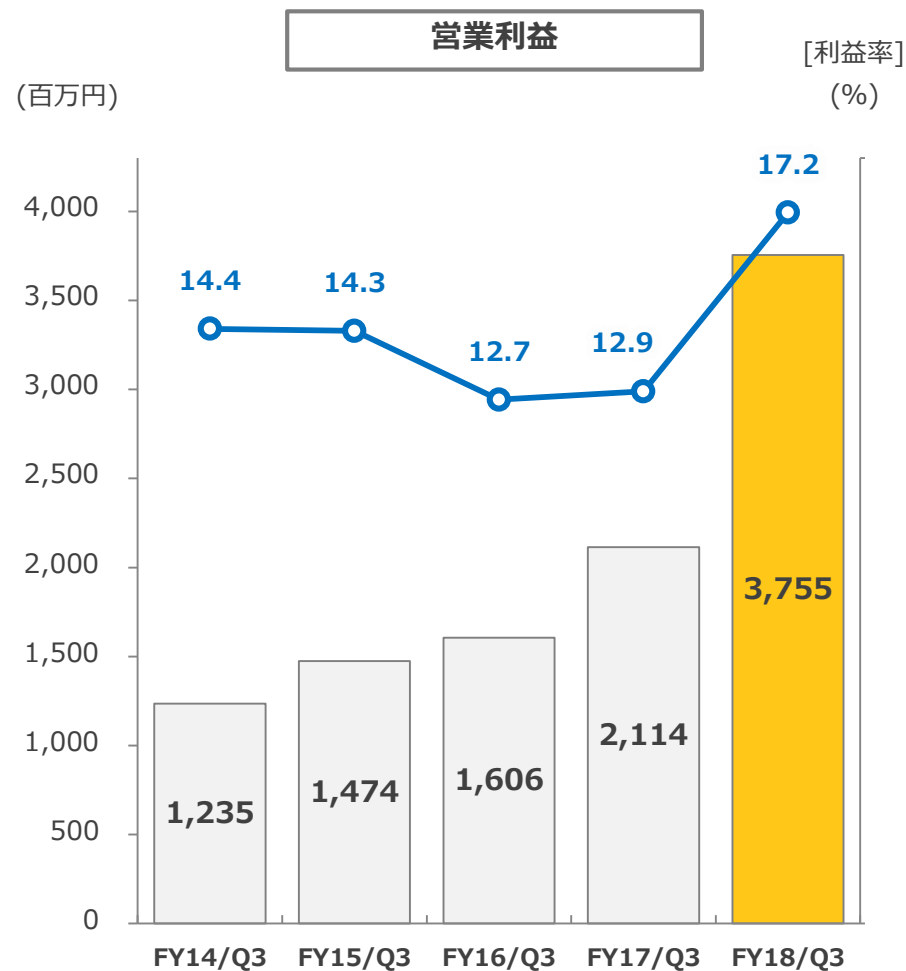
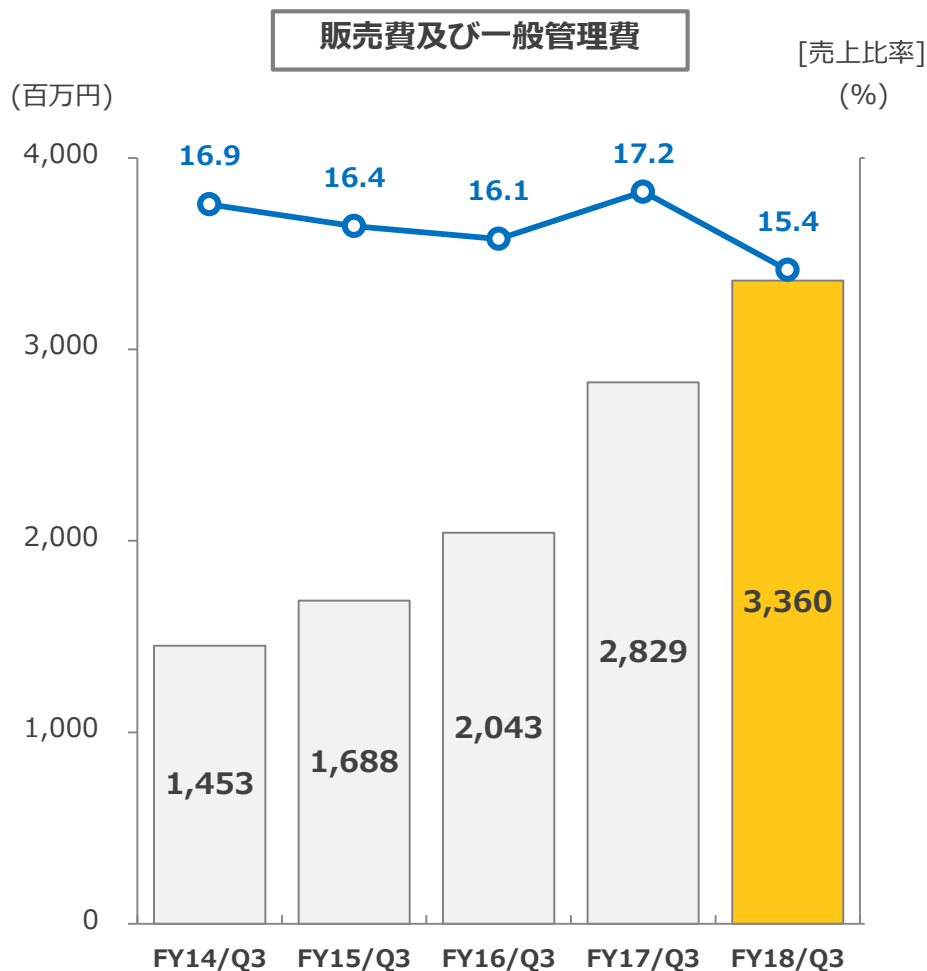
単体P/L (1) 売上高・売上総利益

- 売上高 ⇒ 積極採用+高定着率 → 32四半期連続で前年比増収 +33%
- 売上総利益 ⇒ 派遣単価+稼働率上昇 → 利益率2.5pt.改善 +44%



単体P/L (2) 販管費・営業利益

- 販売費及び一般管理費 ⇒ 人件費増加も採用費低減で微増に留まる +19%
- 営業利益 ⇒ 売上総利益の増加で販管費微増で大幅増益 +78%



単体 P/L サマリー

建設技術者派遣

(百万円)

	FY17/Q3	FY18/Q3	増減額	増減率
売上高	16,442	21,861	+5,419	33.0%
売上総利益	4,944 (30.1%)	7,116 (32.6%)	+2,171	43.9%
販売費及び一般管理費	2,829 (17.2%)	3,360 (15.4%)	+530	18.7%
営業利益	2,114 (12.9%)	3,755 (17.2%)	+1,641	77.6%
経常利益	2,342 (14.2%)	3,860 (17.7%)	+1,518	64.8%
四半期純利益	1,568 (9.5%)	2,643 (12.1%)	+1,074	68.5%

※ () = 売上高比率

エンジニア派遣事業

- 年間採用計画1,200人（進捗率61.0%）
- 採用実績の内 女性：437人（60%）、外国籍：44人（6%）

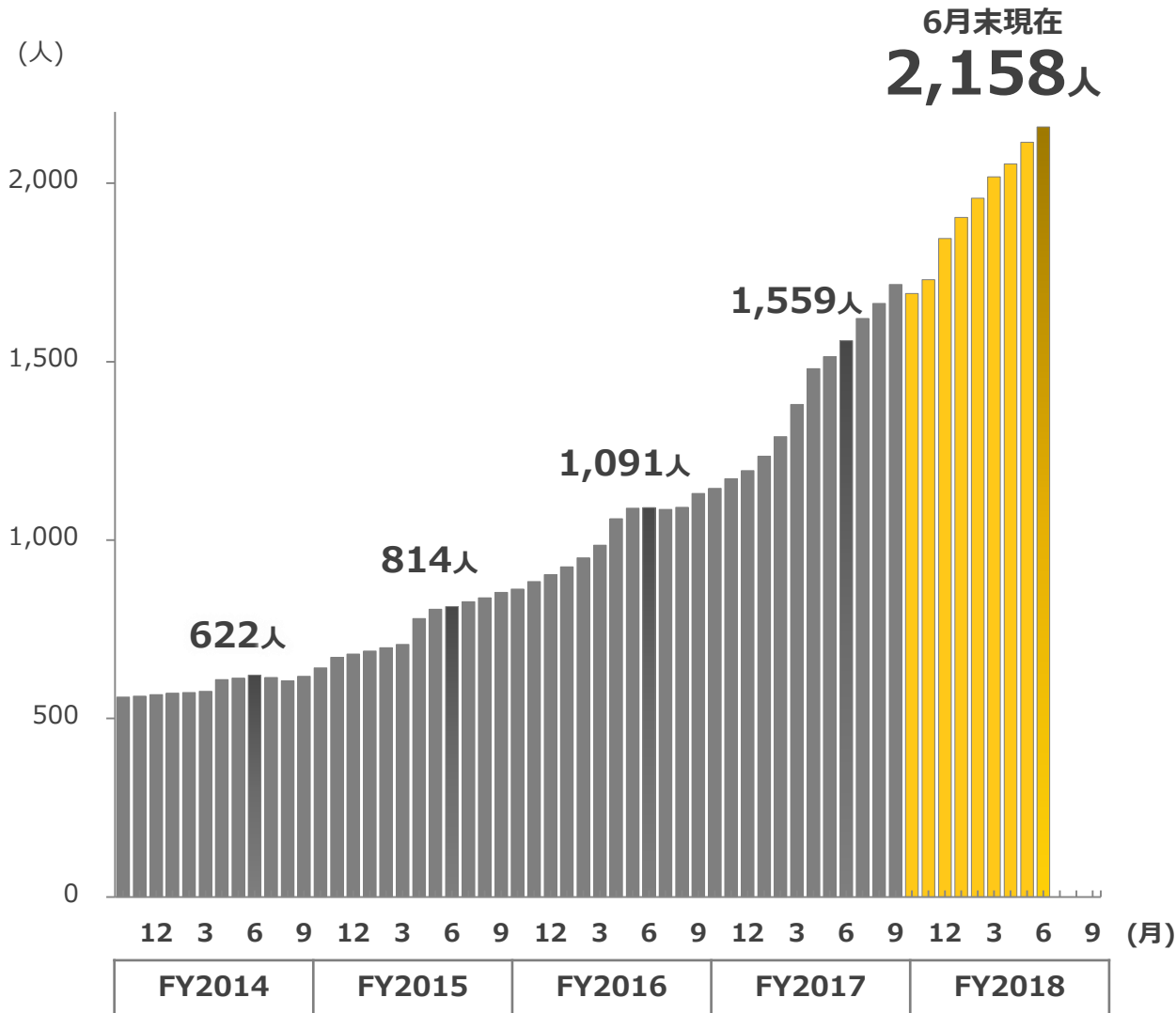
(単位：人)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10~3月 累計
FY17 採用実績		107			242		349
FY18 採用実績		159			270		429
前年比		+52			+28		+80

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4~9月 累計	10~9月 累計
FY17 採用実績		306			286		592	941
FY18 採用実績		303						
前年比		▲3						

在籍エンジニア数の推移

■ 前年同月末比 599人増加 (+38.4%)



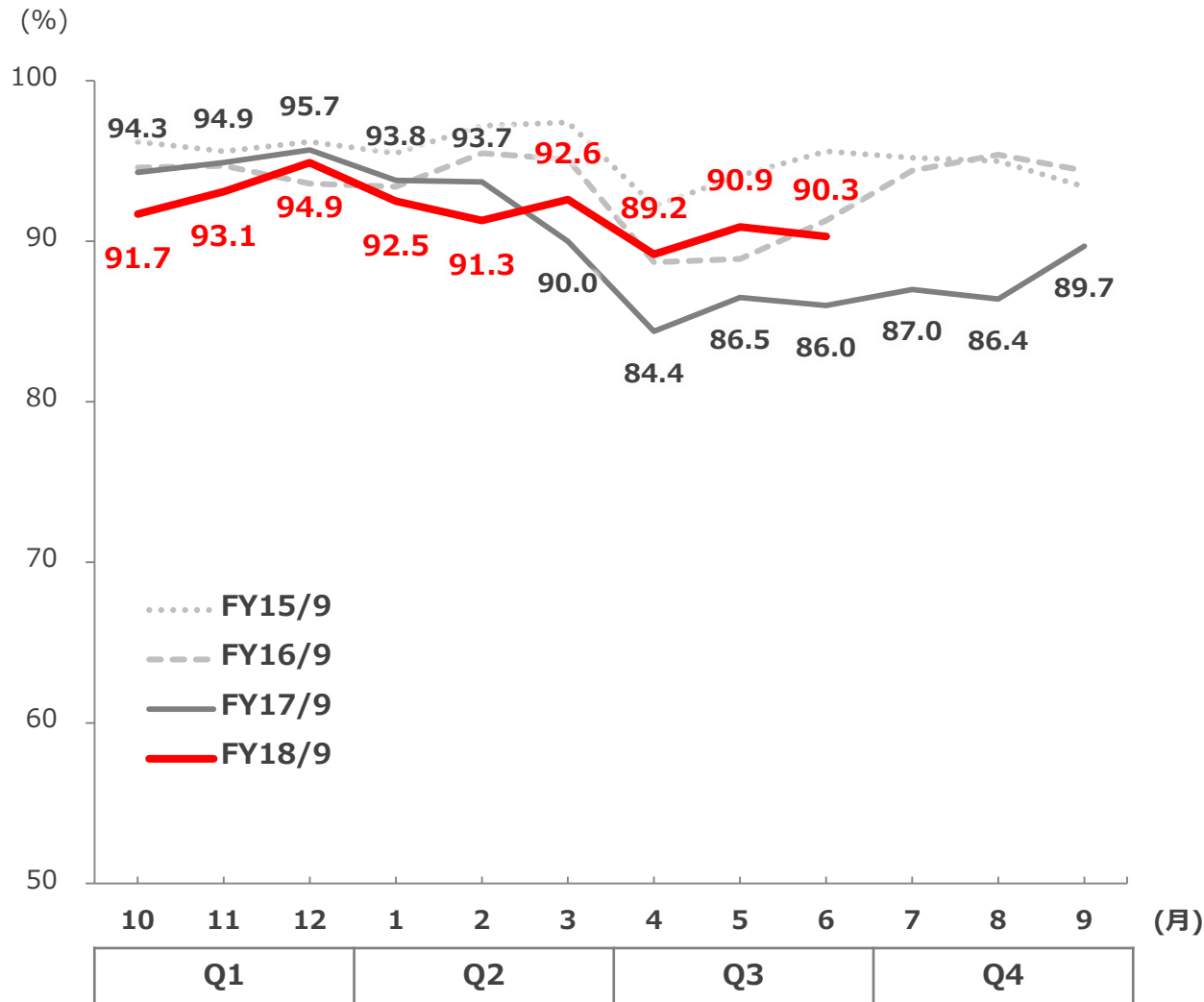
平均技術者数
9ヶ月平均 (10~6月)

FY	平均技術者数 (人)	YoY (%)
FY2014	584人	
FY2015	721人	+23.5%
FY2016	972人	+34.9%
FY2017	1,330人	+36.8%
FY2018	1,941人	+37.3%

※ 各月末技術者数

稼働率の推移

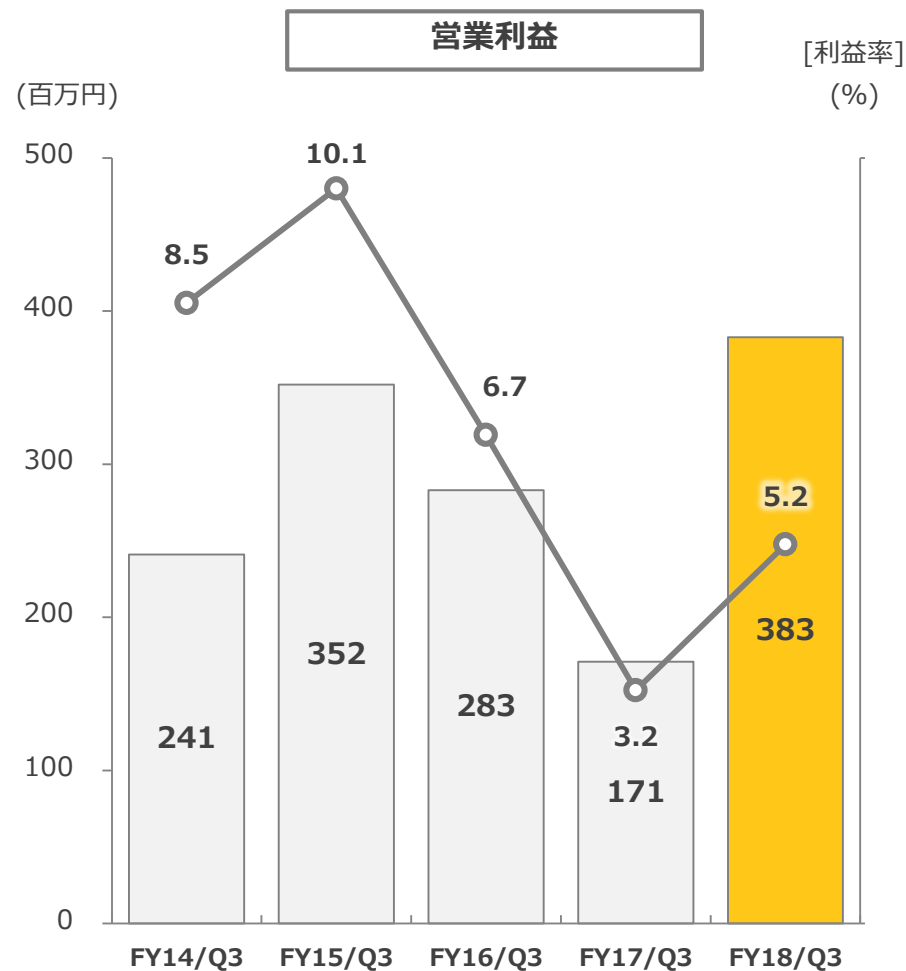
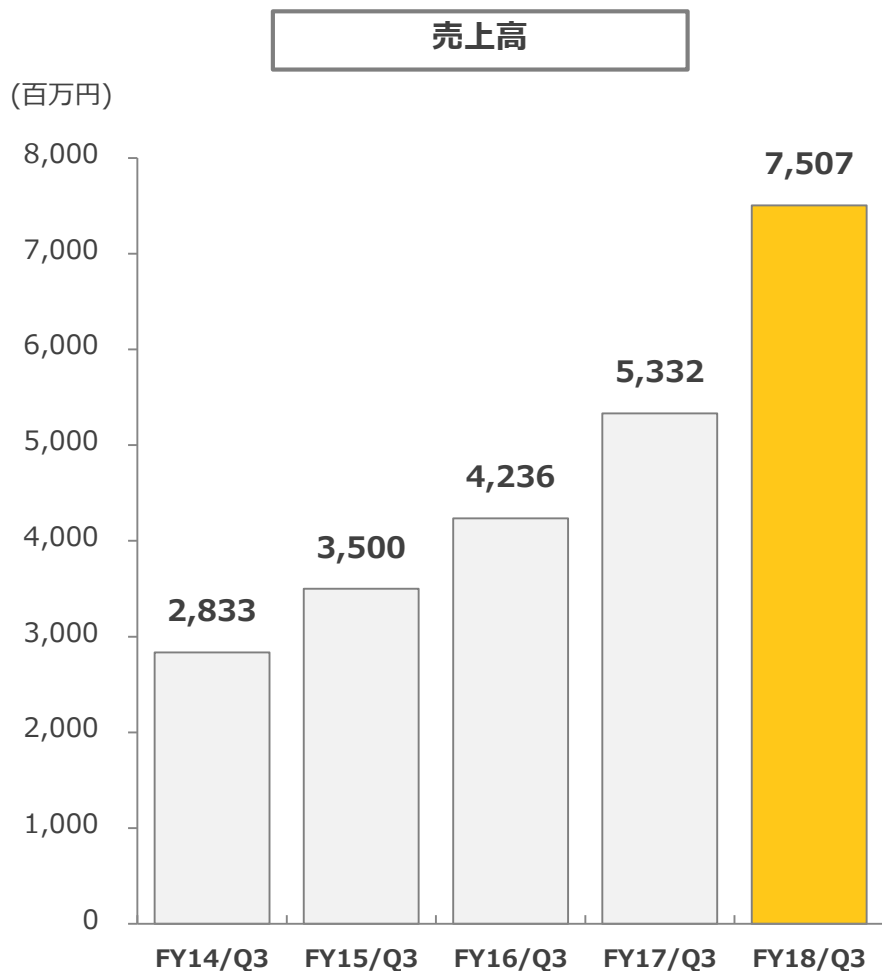
■ 積極投資による採用人数増加で稼働率低下



平均稼働率 9ヶ月平均 (10~6月)		
FY2015	95.6%	YoY
FY2016	92.9%	▲2.7pt.
FY2017	91.0%	▲1.9pt.
FY2018	91.8%	+0.8pt.

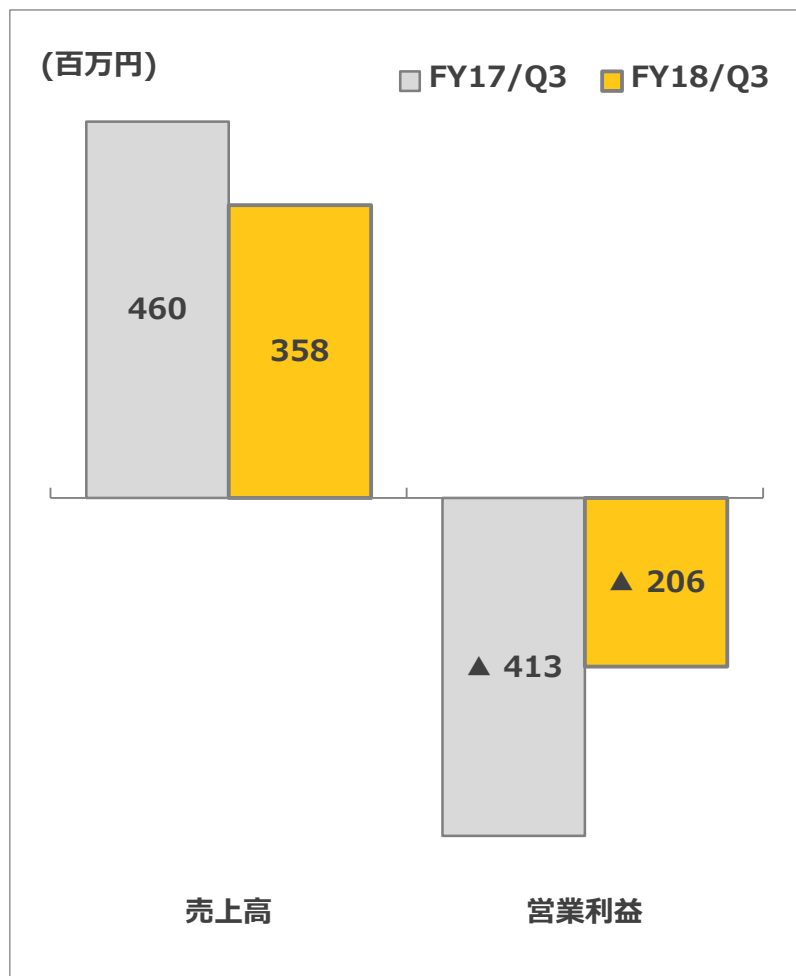
P/L サマリー

- 売上高 ⇒ 積極採用により稼働人数増加 41%増収
- 営業利益 ⇒ 採用費の増加こなし124%増益



その他事業

- 教育・IT関連事業をその他事業へセグメント変更
- 不採算子会社の整理進む → 今後は人材紹介事業がメインに



1. 人材紹介事業

(百万円)

	FY17/Q3	FY18/Q3	増減
売上高	133	162	+29
セグメント利益	▲33	▲42	▲9

・各業界で技術者需要が旺盛 → エージェント増員のため減益

2. 教育関連事業

(百万円)

	FY17/Q3	FY18/Q3	増減
売上高	61	88	+27
セグメント利益	▲277	▲142	+135

・事業縮小に伴う損失計上 → Q4にて吸収合併

3. IT関連事業

(百万円)

	FY17/Q3	FY18/Q3	増減
売上高	265	107	▲158
セグメント利益	▲102	▲21	+81

・不採算子会社売却 → さらに縮小へ

※その他、セグメント間取引による連結消去がございます。

第4四半期について

「利益を出すこと」

IRの取り組み

1. 月次で営業利益を開示
2. 年間採用予算の公表
3. 想定ROEの公表

2018年9月期 連結業績予想と進捗率

(百万円)

	FY2017 実績	FY2018 予想	増減率	進捗率 (Q3現在)
売上高	30,510	39,000	27.8%	76.1%
営業利益	2,361	4,500	90.5%	86.6%
経常利益	2,423	4,500	85.7%	80.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,426	2,900	103.4%	93.6%
1株当たり純利益	19.12円	38.89円	103.4%	93.6%

セグメント別 経営戦略

1. 建設技術者派遣事業

進捗天気図

2,500人採用＋派遣単価UP



2. エンジニア派遣事業

1,200人採用＋派遣単価UP



3. その他事業

取捨選択で損失縮小



2018年9月期

経営戦略

経営戦略

1. 建設技術者派遣事業

- ・ コスト遵守で2,500人を採用
- ・ 継続的なフォロー施策で定着率70%以上維持
- ・ 事務作業軽減 ⇒ 営業効率化で高稼働率
- ・ 地方営業所のさらなる活性化 ⇒ 販路拡大
- ・ 継続的なフォロー研修で高付加価値へ
- ・ 契約単価に重点を置いた営業評価制度

2. エンジニア派遣事業

- ・ 高まる需要を見据え、採用コスト追加 ⇒ 業績予想修正へ
- ・ FY18/Q4から来期FY19にかけてエンジニア増員を優先計画

3. その他事業

- ・ 組織再編で教育およびIT事業はさらに縮小へ
- ・ 需要の強い人材紹介はエージェント増員し来期黒字化へ
- ・ フィリピンおよびベトナム人材への日本語教育も強化

採用戦略

1. 一人当たり採用コストは横ばい計画 ⇒ 応募数より承諾率の向上に注力
2. 300百万円のバッファを設定 ⇒ コスト管理を徹底
3. 面接担当者のスキルを標準化
4. 応募→面接→内定→承諾のプロセスを一元管理
5. 前期採用拠点を多数新設 ⇒ 地方での採用を強化

採用コスト

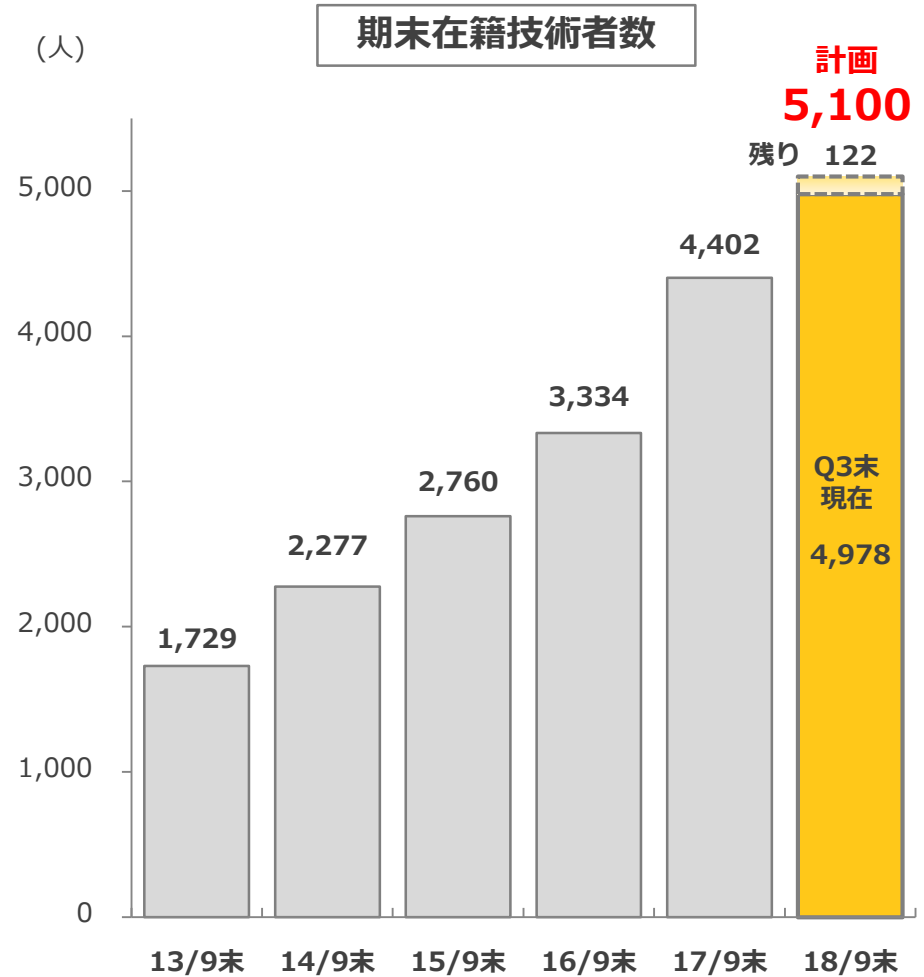
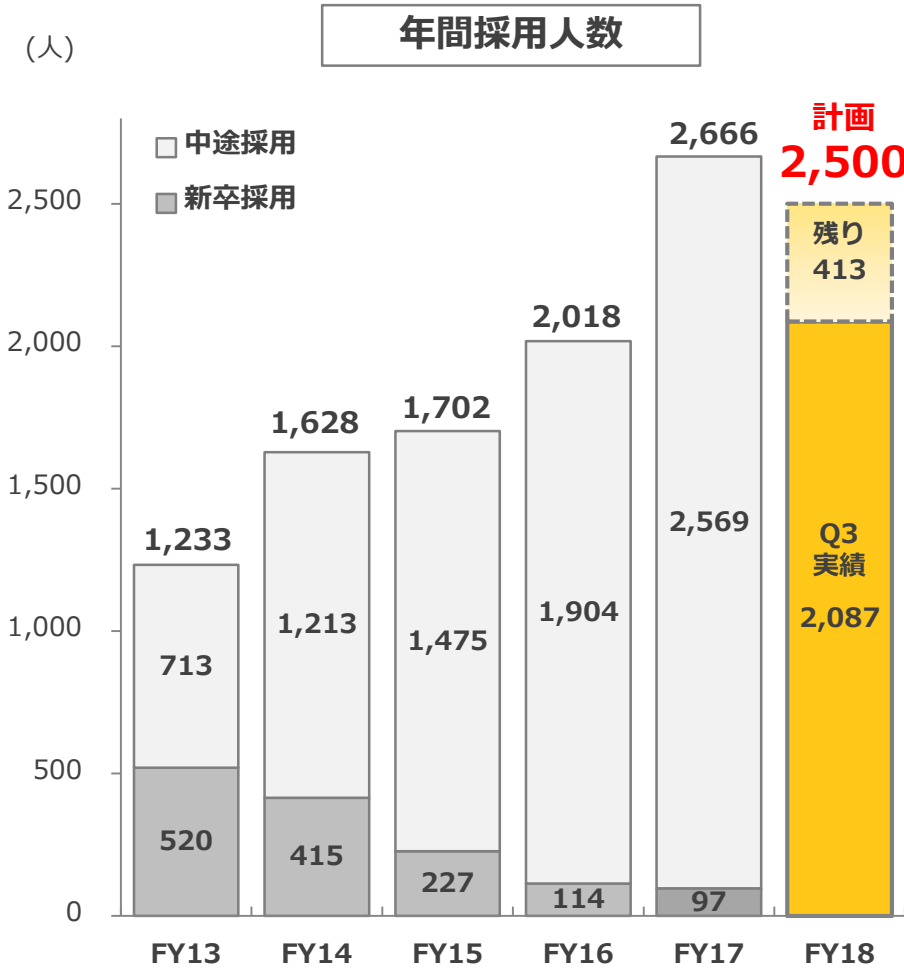
(百万円)

	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018 (計画)	FY18/Q3 (実績)
年間採用コスト	455	668	1,117	1,300	886 (68.2%)
年間採用人数	1,702人	2,018人	2,666人	2,500人	2,087人 (83.5%)
一人当たり採用コスト	267千円	331千円	419千円	400千円	425千円
増減率	31.9%	23.9%	26.5%	△4.5%	+1.3%

※()=進捗率

目標技術者数

- 費用コスト計画内で目標採用人数2,500人からの上振れも視野に
- 定着率堅調で期末在籍目標5,100人の上振れはほぼ確実



通期業績予想の修正

エンジニア派遣

修正の理由

- 採用計画1,200人達成のための追加投資
- エンジニア数増加にともなう管理部門の拡充および営業員の増員
- 投資有価証券評価損 150百万円を特別損失として計上

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A) ※2017年11月6日公表	10,000	650	630	410	31.70
今回発表予想 (B) ※2018年8月10日公表	10,000	380	380	180	13.91
増減額 (B-A)	0	▲270	▲250	▲230	—
増減率	0	▲41.5%	▲39.7%	▲56.1%	—

来期以降の飛躍的成長に向けた先行投資

組織再編の計画

その他

- 社内IT化の促進のため夢真HDと夢ソリューションズが合併予定
- 社内教育の強化のため夢テクノロジーと夢エデュケーションが合併

[FY18/Q3]

報告セグメント	会社名
建築技術者派遣	夢真ホールディングス
エンジニア派遣	夢テクノロジー クルンテープ
その他 (人材紹介)	夢エージェント YUMEAGENT PHILIPPINES YUMEAGENT VIETNAM
(教育関連)	夢エデュケーション 建設資格推進センター
(IT関連)	夢ソリューションズ



[FY18/Q4以降]

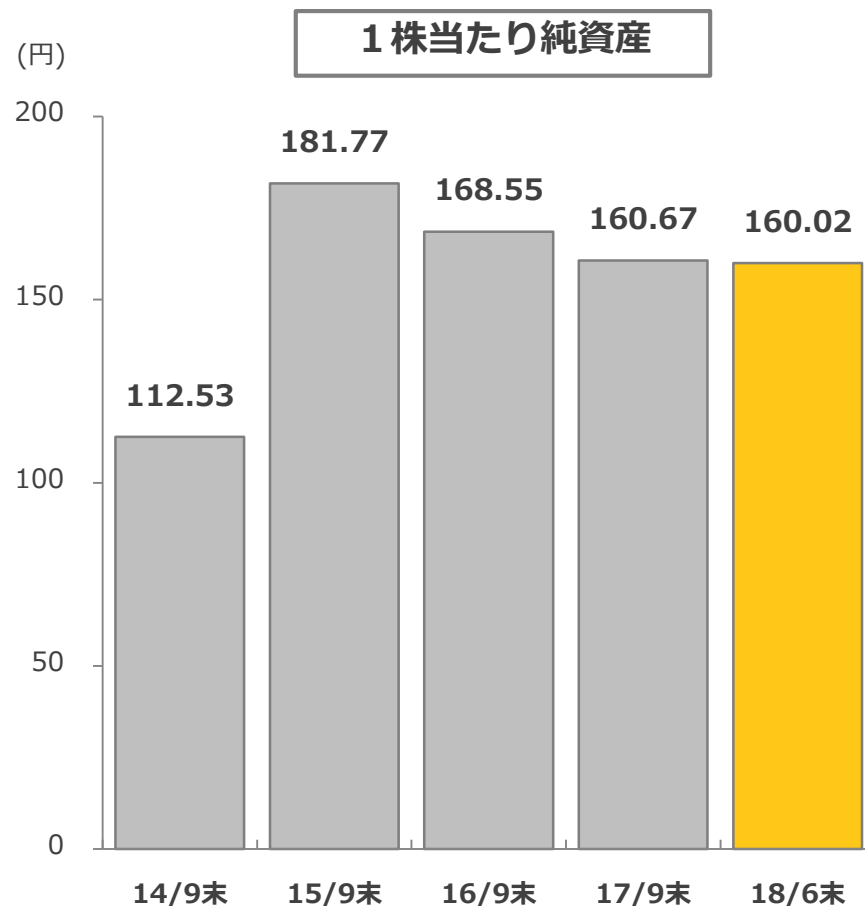
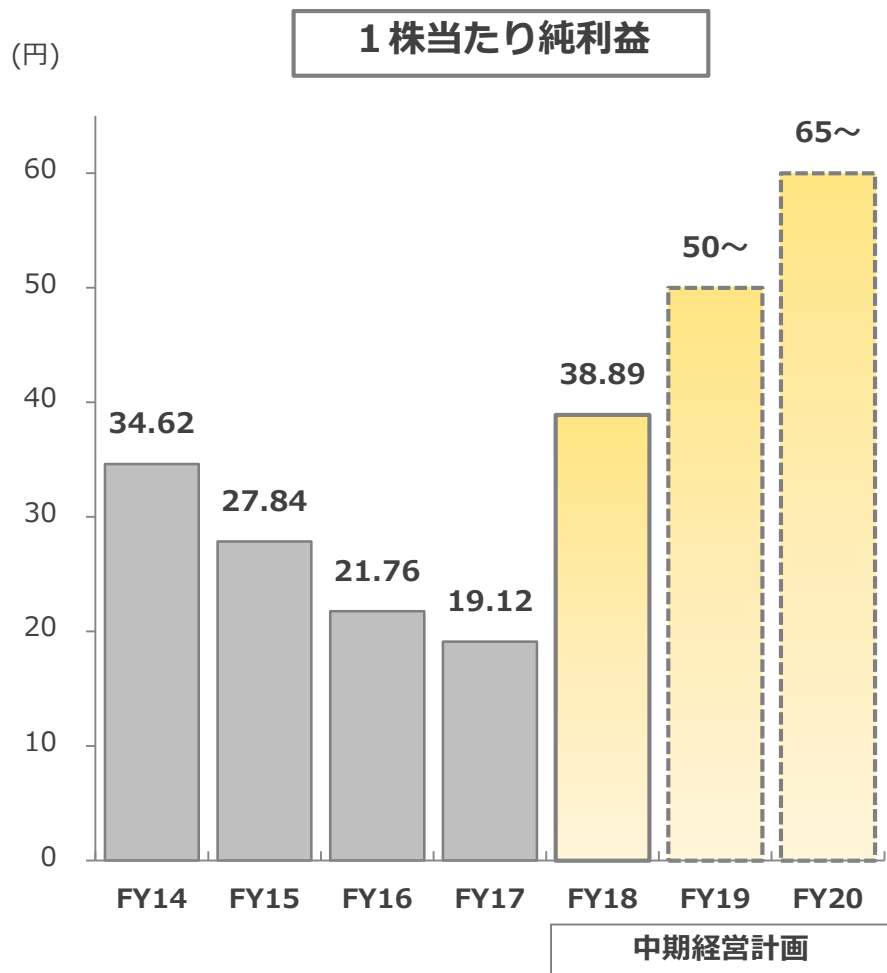
報告セグメント	会社名
建設技術者派遣	夢真ホールディングス ※夢ソリューションズを 10月1日付で吸収合併予定
エンジニア派遣	夢テクノロジー ※夢エデュケーションを 8月1日付で吸収合併 クルンテープ
その他 (人材紹介)	夢エージェント YUMEAGENT PHILIPPINES YUMEAGENT VIETNAM

株主還元



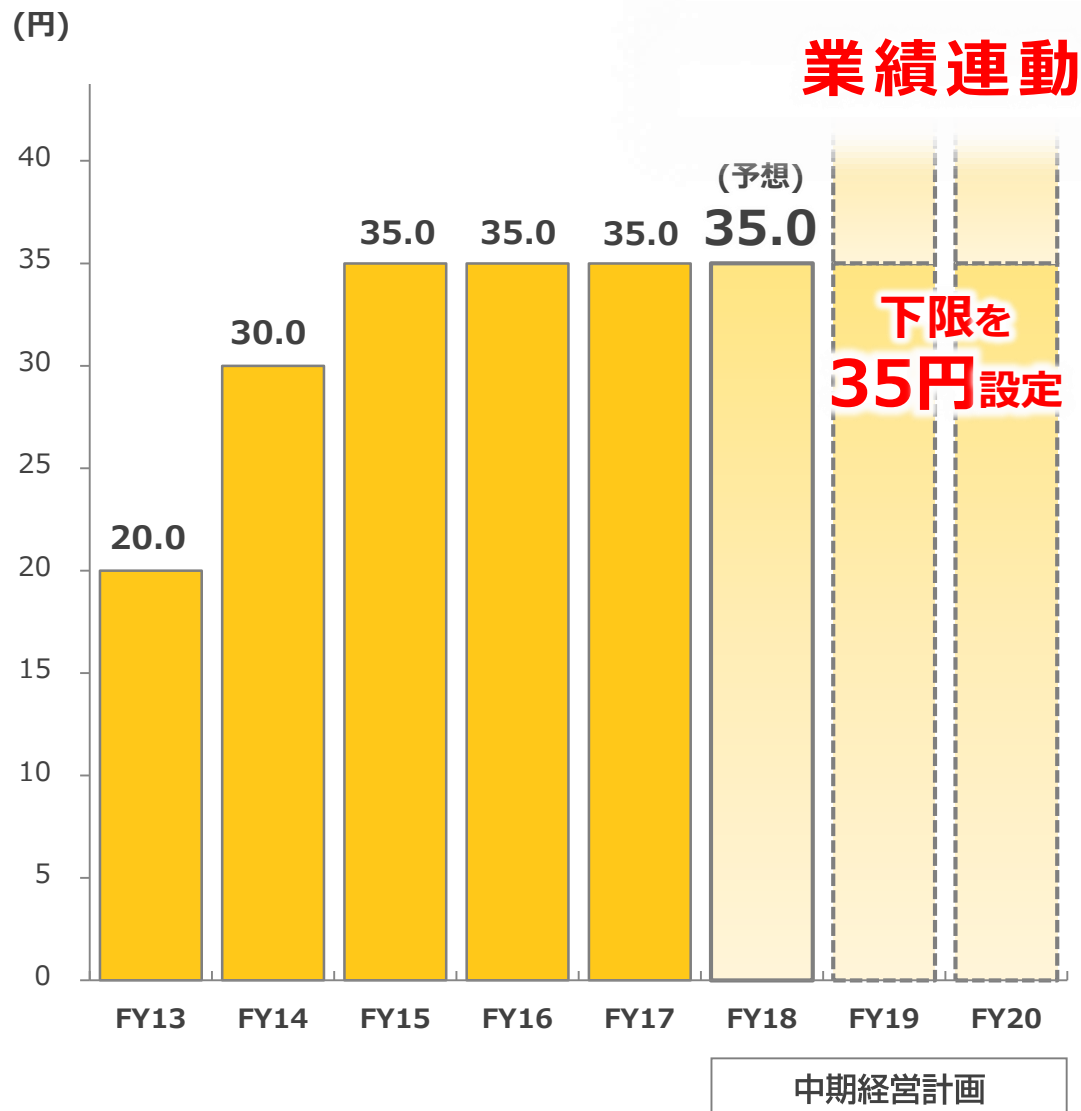
株主還元（1） 1株当たり純利益・純資産

■ 1株当たり純利益 ⇒ 利益率の改善でFY18以降、大幅増益予定



- ※ 1. 1株当たり純利益 = 当期純利益 ÷ 期中平均株式数 × 100
2. 1株当たり純資産 = 自己資本 ÷ (発行済株式総数 - 期末自己株式数) × 100

株主還元（2） 1株当たり配当金



安定配当に プラスα

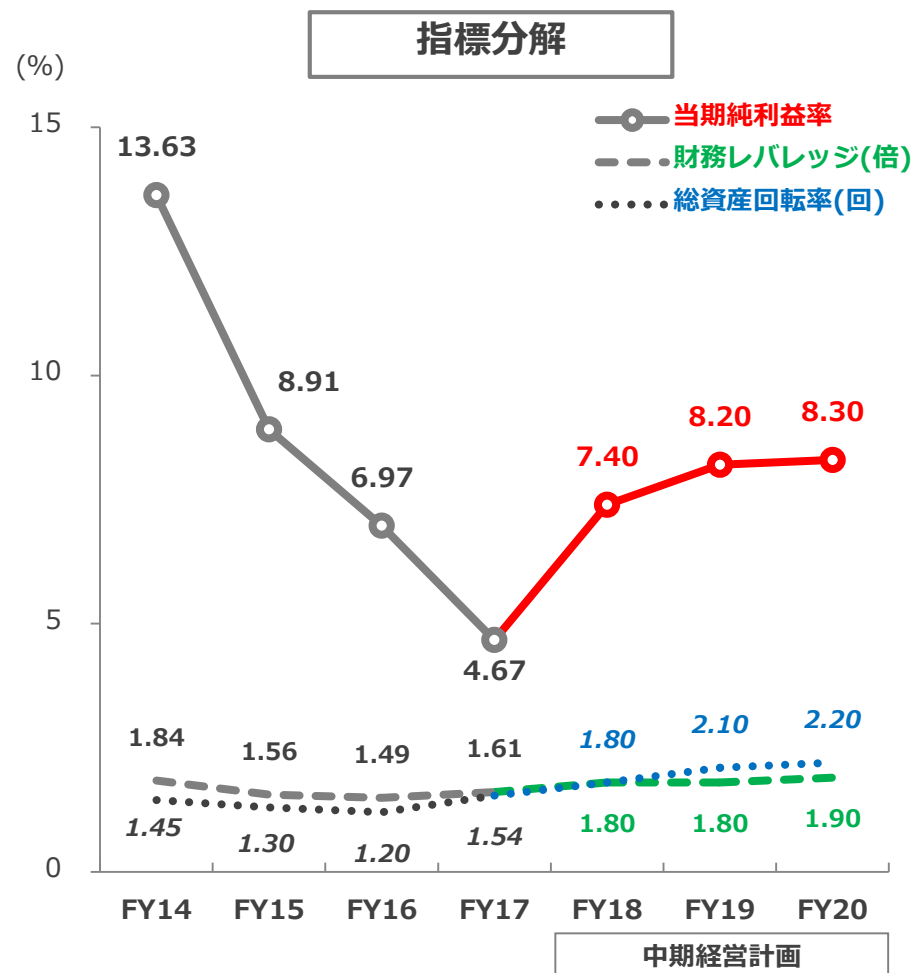
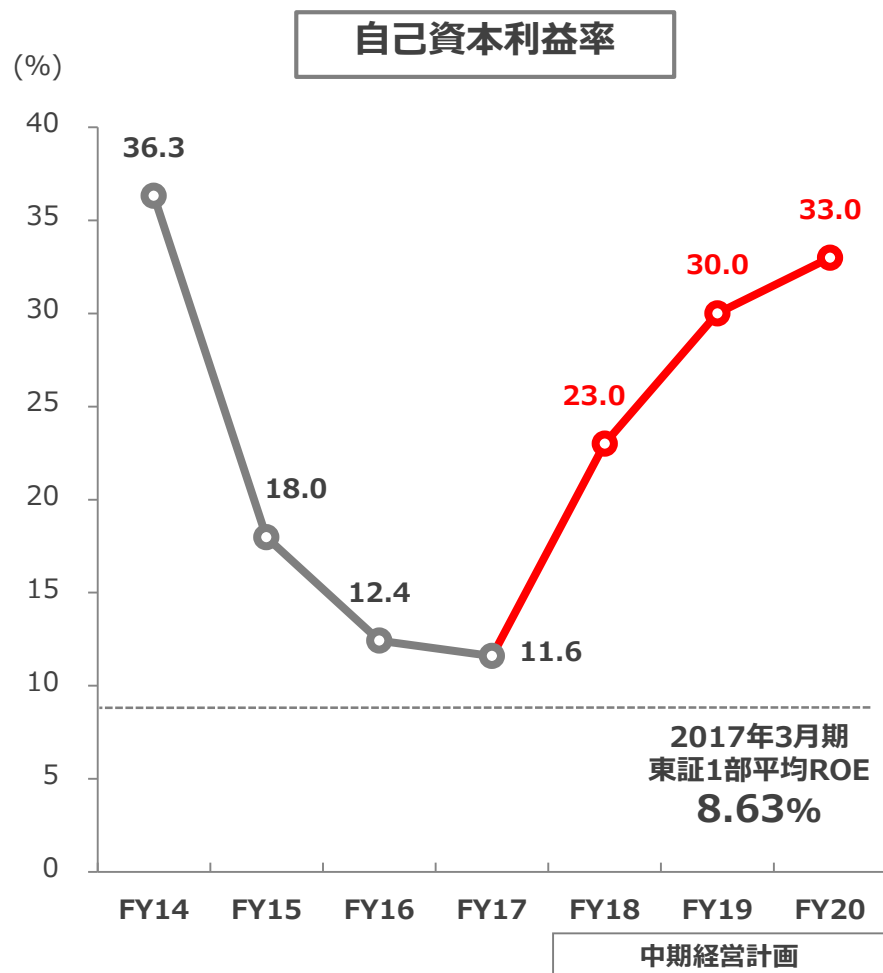
プラスαとは？

EPSの増加分を機動的に活用

1. 増配
2. 自己株式取得
3. M&Aなどの再投資

株主還元（3）自己資本利益率（ROE）

■ 利益率の改善と高配当+再投資による資産回転率の向上で30%水準への回復を目指す



- ※ 1. 自己資本利益率 = 当期純利益 ÷ 自己資本(期中平均) × 100
 2. 財務レバレッジ = 総資産(期中平均) ÷ 自己資本(期中平均)
 3. 総資産回転率 = 売上高 ÷ 総資産(期中平均)

4. 中期経営計画におけるROEは毎期35.0円配当にて算出

ご参考

ご参考 (1) 中期経営計画

1. 連結

(百万円)

	FY2017 (実績)	FY2018	FY2019	FY2020
売上高	30,510	39,000	50,500	60,000
営業利益	2,361	4,500	6,200	7,900
営業利益率	7.7%	11.5%	12.3%	13.2%
当期純利益	1,426	2,900	4,100	5,000
1株当たり純利益	19.12円	38.89円	50円～	65円～

2. 建設技術者派遣事業

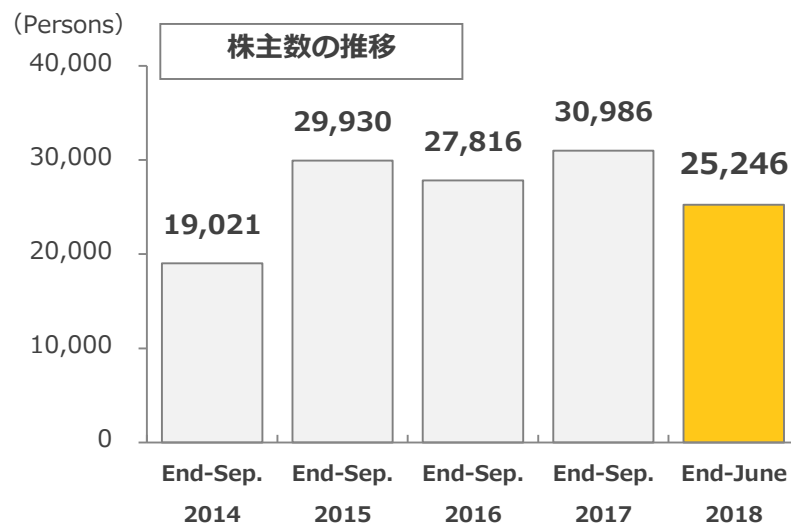
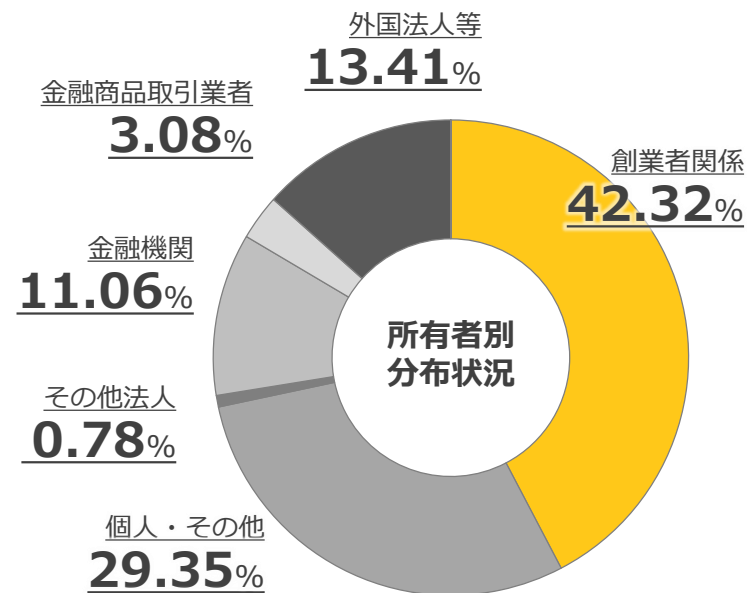
(百万円)

売上高	22,607	28,000	35,000	38,000
営業利益	2,877	4,200	5,200	6,000

ご参考 (2) 株式の状況

2018年6月30日現在

	株主名	所有株式数 (千株)	所有割合 (%)
1	佐藤 真吾	18,425	24.70
2	佐藤総合企画	12,444	16.69
3	Japan Trustee Services Bank	3,613	4.85
4	The Master Trust Bank of Japan	2,948	3.95
5	Trust & Custody Services Bank	959	1.29
6	深井 英樹	880	1.18
7	SBI Securities	769	1.03
8	個人	729	0.98
9	佐藤 淑子	688	0.92
10	Goldman Sachs International	516	0.69
大株主上位10名合計		41,971	56.28



※ 発行済株式総数=74,573,440株
自己株式数=86株

人と人とのめぐりあいで みんなの夢を真にする





YUMESHIN

免責事項

本資料は、資料作成者が信頼できると判断した情報源から入手した情報に基づいて作成しておりますが、当社および資料作成者はこれらの情報が正確であるとの保証はいたしかねます。情報が不完全または要約されている場合もあります。本資料に記載する価格・数値等は、過去の実績値、概算値あるいは将来の予想値であり、実際とは異なる場合もございます。

本資料は将来の結果をお約束するものではありませんし、資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、当社および資料作成者が責任を負うものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



JASDAQ

[お問い合わせ]

〒100-0005

東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング 22F

株式会社 夢真ホールディングス IR室

TEL: 03-3210-1212 FAX: 03-3210-1209

E-mail: ir@yumeshin.co.jp